

三重県の文化財保護

— 平成 24 年度 —



2013. 12

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が平成24年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I 文化財の指定・登録

- 1 国登録有形文化財の登録 1
- 2 三重県文化財保護審議会 9
- 3 三重県指定文化財の指定 10
- 4 市町指定文化財の指定・解除 18

II 県実施の調査・保護事業

- 1 特別天然記念物カモシカ調査
(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査 19
(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査 19
(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員
並びに保護行政担当者会議 20
- 2 埋蔵文化財緊急発掘調査等
(1) 国史跡齋宮跡発掘調査 20
(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査 20
(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理 21
- 3 新たな地域文化発掘推進事業
(1) 石造物調査 21
(2) 海女習俗詳細調査 22
- 4 史跡等及び埋蔵文化財公開活用
(1) 史 齋宮跡 23
(2) 県内埋蔵文化財 23
- 5 重文 三重県齋宮跡出土品
美術工芸品保存修理 23

III 文化財補助事業等

- 1 国庫補助事業
(1) 建造物保存修理事業 24
(2) 建造物防災施設事業 24
(3) 重要伝統的建造物群保存地区・
保存修理事業 24
(4) 伝統的建造物群保存対策調査事業 24
(5) 重要文化財建造物等公開活用事業 25
(6) 美術工芸品保存修理事業 25
(7) 美術工芸品調査事業 25
(8) 美術工芸品防災施設事業 26
(9) 重要無形文化財保持団体補助事業 26
(10) 民俗文化財伝承・活用等事業 26
(11) 史跡等・登録記念物・
歴史の道保存整備事業 26
(12) 史跡等買上事業 29
(13) 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業 29
(14) 埋蔵文化財発掘調査等事業 30
(15) 天然記念物食害対策事業 36
(16) 天然記念物緊急調査事業 36
(17) 天然記念物再生事業 36

2 県費単独補助事業

- (1) 建造物保存修理事業 37
 - (2) 民俗文化財伝承・活用等事業 37
 - (3) 天然記念物再生事業 37
 - (4) 天然記念物環境整備事業 38
- ### 3 活かそう守ろうみえの文化財事業
- (1) 事業概要 38
 - (2) 事業実績 38
- ### 4 民間団体による助成 40

IV 世界遺産の保存管理

- 1 世界遺産熊野古道保存管理事業
(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」
三県協議会 41
(2) 県内の世界遺産保存管理 42
(3) 活用事業 42
- 2 他部局との連携事業ほか
(1) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会 43
(2) 三重大学との共同研究 43
(3) 熊野古道関係担当者会議 43

V 文化財の管理・普及

- 1 登録審査
(1) 銃砲刀剣類登録審査会 44
(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会 44
(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会 45
- 2 文化財の管理
(1) 文化財パトロール 45
(2) 文化財保護にかかる会議 49
(3) 発掘調査届・通知等 51
(4) 埋蔵文化財の発見（法第100条関係） 52
(5) 埋蔵物の文化財認定（法第102条関係） 53
(6) 出土文化財の譲与 56
- 3 国・県指定文化財の現状変更等
(1) 国指定文化財現状変更等 57
(2) 県指定文化財現状変更等 63
- 4 文化財の公開・普及
(1) 文化財関係の受賞 67
(2) 三重県文化財講習会（第30回） 67
(3) 第54回近畿・東海・北陸ブロック
民俗芸能大会 67
(4) 文化財保護強調週間行事 68
(5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況 68
(6) 文化財保護の組織 68

【表紙 東日野・西日野の大念仏】

【裏表紙 三重県内 国・県指定等文化財数】

I 文化財の指定・登録

1 国登録有形文化財の登録

森家住宅 主屋・土蔵（もりけじゅうたくしゅおく・どぞう）

員数 2棟（24-0121・0122）
構造・規模 主屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積 184㎡
土蔵：土蔵造二階建、瓦葺、面積 24㎡

所在地 四日市市羽津町4110

所有者 個人

年代 明治前期

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

登録年月日 平成24年8月13日（平成24年8月13日付文部科学省告示第174号）

特徴・評価

東海道沿いの商家の建物である。明治頃には「槌屋」の屋号で酒屋、薬屋、廻船問屋、質屋等を営んでいた。主屋は近隣では珍しい妻入りの木造平屋建の建物で、南側に大戸口、奥までの通り土間を設けている。土間の北側に2列に4間の居室を配し、更に北側に角屋を突出させて数奇屋風の小座敷を設けている。土蔵は主屋の北東奥に位置し、道具類を収蔵する小型の蔵である。明治時代の大規模町屋の様子を伝え、街道景観を担う建物である。



梅田家住宅 主屋・表蔵・中蔵・渡廊下

(うめだけじゅうたくしゅおく・おもてぐら・なかぐら・わたりろうか)

員数	4棟(24-0123・0124・0125・0126)
構造・規模	主屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積155㎡ 表蔵：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積70㎡ 中蔵：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積24㎡ 渡廊下：木造平屋建、瓦葺、建築面積22㎡
所在地	名張市上八町1648
所有者	個人
年代	主屋：慶応2年／昭和18～20年・昭和35年・平成23年改修 表蔵：慶応2年／昭和35年・平成23年改修 中蔵：慶応2年／大正10年・昭和39年・平成18年改修 渡廊下：慶応2年／大正10年・昭和10年・昭和39年改修

登録基準

登録年月日

特徴・評価

(一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

平成24年8月13日(平成24年8月13日付文部科学省告示第174号)

旧会津藩家臣であった梅田家が、名張の初瀬街道沿いに営んだ鋳物屋の店舗兼住宅である。屋号を「会津屋」と称し、昭和18年まで鋳物業を営んでいた。いずれの建物も慶応2年(1866)に建築された木造・土蔵造の建物である。主屋は8畳4間取り、通り土間を設ける田の字型の大型町屋である。表蔵は主屋とともに街道沿いに位置し、商品を納める蔵として使用されていた。主屋の土間から出入りできるよう、妻入りの建物である。中蔵は主屋の奥に渡廊下によって繋がれた建物で、腰壁は海鼠壁、上部を白漆喰仕上げとしている。渡廊下は主屋から雪隠へと行くために設けられたもので、中蔵まで行ける中庭側を開放した廊下である。軒を深くし雨露をしのげるようになっている。いずれの建物も初瀬街道の景観形成に欠かせない建物である。



八太正太夫酒店 主屋・蔵及び蔵前・向い座敷及び下の蔵・角蔵及び化粧室
 (はったしょうだゆうさけてん しゅおく・くらおよびくらまえ・
 むかいざしきおよびしものくら・すみくらおよびけしょうしつ)

員 数 4棟 (24-0127・0128・0129・0130)
 構造・規模 主屋：木造平屋建、瓦葺、建築面積 163 m²
 蔵及び蔵前：土蔵造一部木造二階建、瓦葺、建築面積 46 m²
 向い座敷及び下の蔵：木造平屋建及び土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 59 m²
 角蔵及び化粧室：土蔵造及び木造平屋建、瓦葺一部鉄板葺、建築面積 8.5 m²
 所在地 津市香良洲町1094
 所有者 個人
 年 代 主屋：明治前期／明治後期増築／昭和後期改修
 蔵及び蔵前：明治中期／平成22年改修
 角蔵及び化粧室：明治17年頃／平成22年改修
 向かい座敷及び下の蔵：明治後期

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
 登録年月日 平成25年3月29日 (平成25年3月29日付文部科学省告示第59号)

特徴・評価 18代を数える八太家は地主・酒造業の家系で、現在は酒販業を営む。主屋は木造平屋建の建物で、この地域の伝統的な建築を基にした近代和風建築である。建築後の改造がほとんど見られず、優れた意匠や材料を残している。蔵及び蔵前の建物は、土蔵造と木造の2階建の建物で、蔵前には数奇屋風の小座敷を設け窓から邸内や集落を眺望できるようになっている。敷地内に南から下の蔵、向い座敷、蔵前、蔵、角蔵と並び建ち、特徴的な漆喰塗りと下見板張りの外壁を連続させて特色ある景観を形成している。



石川酒造 主屋・西の座敷・南文庫蔵・北文庫蔵・旧精米場・旧米庫・納屋・大蔵・
 釜場・槽場・壘詰場・貯蔵庫及び事務所・井戸屋形・自噴井戸・西土堀
 (いしかわしゅぞう しゅおく・にしのだしき・みなみぶんこぐら・きたぶんこぐら・
 きゅうせいまいじょう・きゅうこめこ・なや・おおぐら・かまば・ふなば・びんづめば
 ・ちょぞうこおよびじむしょ・いどやかた・じふんいど・にしどべい)

員 数 15 棟 (24-0131~0145)
 構造・規模 主屋：木造平屋一部二階建、瓦葺、建築面積 296 m²
 西の座敷：木造平屋建、瓦葺、建築面積 72 m²
 南文庫蔵：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 50 m²
 北文庫蔵：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 39 m²
 旧精米場：土蔵造平屋一部二階建、瓦葺、建築面積 98 m²、門付
 旧米庫：土蔵造平屋建、瓦葺、建築面積 49 m²
 納屋：木造二階建、瓦葺、建築面積 94 m²
 大蔵：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 566 m²
 釜場：木造平屋一部二階建、瓦葺、建築面積 166 m²
 槽場：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 141 m²
 壘詰場：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 280 m²
 貯蔵庫及び事務所：土蔵造二階建、瓦葺、建築面積 155 m²
 井戸屋形：木造、瓦葺、面積 6.8 m²、井戸付
 自噴井戸：煉瓦造及びコンクリート造、面積 7.5 m²
 西土堀：木造、瓦葺、延長 19 m
 所在地 四日市市桜町字南垣内128 他
 所有者 個人
 年代 主屋：明治24年／昭和元年増築／昭和23年頃・平成元年改修、
 西の座敷：明治31年／平成22年改修、 南文庫蔵：明治後期、
 北文庫蔵：昭和前期、 旧精米場：明治中期、 旧米庫：明治中期、
 納屋：明治中期、 大蔵：大正5年／昭和21年改修、 釜場：明治後期、
 槽場：明治後期、 壘詰場：明治後期、
 貯蔵庫及び事務所：明治後期／昭和23年改修、 井戸屋形：明治後期、
 自噴井戸：大正5年／昭和29年増築、 西土堀：明治後期

登録基準 (一) 国土の歴史的景観に寄与するもの

登録年月日 平成25年3月29日 (平成25年3月29日付文部科学省告示第59号)

特徴・評価 江戸後期に創業した造り酒屋である。鈴鹿山系から湧き出す伏流水が自噴する井戸を中心として明治から昭和前期までの蔵や酒造場、住居などの大小様々な建物が立ち並んでいる。主屋は通りに面した正面に位置し、重厚な表構えをみせる。西の座敷とともに接客の場として利用されてきた。他の建物と合わせ、明治期の造り酒屋を構成する建物群として当地域の景観に寄与している。



木屋正酒造店舗兼主屋（きやしゅうしゅぞうてんぽけんしゅおく）

員 数	1 棟（24-0146）
構造・規模	木造平屋建、瓦葺、建築面積 250 m ²
所在地	名張市本町314-1
所有者	個人
年 代	明治22年／大正2年増築／昭和63年改修
登録基準	（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日	平成25年3月29日（平成25年3月29日付文部科学省告示第59号）
特徴・評価	

初瀬街道沿いの町屋が並ぶ本町筋に建つ商家である。江戸時代に栄えた酒屋を元材木商だった初代が江戸後期に譲り受け、「木屋正」の屋号で酒造業を営んでいる。木造つし2階建、切妻造棧瓦葺の建物で、つし部分には虫籠窓を穿ち、漆喰塗りで仕上げ、また下屋を設けている。正面左手を出入り口と「ミセノマ」とし、老舗酒屋の店構えを残す大型の町屋建築である。



大王埼灯台・門柱及び塀（だいおうさきとうだい・もんちゅうおよびへい）

員数	2棟（24-0147・0148）
構造・規模	灯台：鉄筋コンクリート造、高さ23m、建築面積58㎡ 門柱及び塀：門柱 鉄筋コンクリート造、塀 鉄筋コンクリート造、延長105m
所在地	志摩市大王町波切54-3
所有者	国、志摩市
年代	昭和2年
登録基準	（一）国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日	平成25年3月29日（平成25年3月29日付文部科学省告示第59号）
特徴・評価	志摩半島の東南端の断崖上に建つ地上高23mの灯台である。周辺は海難事故の多い難所であることから灯台設置の要望を受け、関東大震災後初の新設灯台として建築された。平面円形の灯塔に扇形の付属屋を取り付けた建築で、このような形態は、正方形平面が主流の灯台の中で他に類をみない。門と塀は同時に整備されており、門柱は鉄筋コンクリート造の角柱で、向って左側が現存する。塀は敷地を区画する高さ1.5m程の鉄筋コンクリート造のものである。大王埼一帯の優れた景観の象徴的存在である。



安乗埼灯台 (あのりさきとうだい)

員数	1棟(24-0149)
構造・規模	鉄筋コンクリート造、高さ16m、建築面積27㎡
所在地	志摩市阿児町安乗字小山795
所有者	国
年代	昭和23年
登録基準	(一) 国土の歴史的景観に寄与するもの
登録年月日	平成25年3月29日(平成25年3月29日付文部科学省告示第59号)
特徴・評価	志摩半島に深く切り込んだ的矢湾に突出する岬に建つ。江戸時代に灯明台が設けられてから、複数回の建て替えを経て現在のものとなる。総高16m、白色の鉄筋コンクリート造の角柱形の灯塔で、円筒形の灯室を上部に載せる。装飾要素を排したところが特徴である。映画「喜びも悲しみも幾歳月」や吉井勇の「志摩月夜」などの小説にも取り上げられ、志摩の歴史的景観を構成する建物である。



2 三重県文化財保護審議会

氏名	担当分野	所属
林 良彦	建造物	奈良文化財研究所 建造物研究室長
菅原 洋一	建造物	三重大学 教授
狩野 博幸	絵画・工芸	同志社大学 教授
関根 俊一	絵画・工芸	帝塚山大学 教授
日高 薫	絵画・工芸	国立歴史民俗博物館 教授
伊東 史朗	彫刻	和歌山県立博物館 館長
熊田 由美子	彫刻	愛知県立芸術大学 教授
赤川 一博	彫刻	パラミタミュージアム 学芸企画部長
岡野 友彦	文書	皇學館大学 教授
高倉 一紀	典籍	皇學館大学 教授
櫻井 治男	民俗	皇學館大学 教授
古家 信平	民俗	筑波大学 教授
坂井 秀弥	史跡・考古	奈良大学 教授
千田 嘉博	史跡・考古	奈良大学 教授
森 勇一	地質鉱物	金城学院大学 講師
伊藤 進一郎	植物	三重大学 教授
藤井 伸二	植物	人間環境大学 准教授
名越 誠	動物	奈良女子大学 名誉教授

第1回審議会

期 日 平成24年11月12日
 場 所 三重県勤労者福祉会館（津市栄町1丁目891番地）
 内 容 諮問 三重県指定文化財の指定等に関する諮問
 審議 平成24年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
 報告 平成24年度文化財保護事業について
 国指定等文化財の指定等について
 国・県指定文化財の現状変更等について
 上げ馬神事の調査結果について
 海女習俗にかかる取組

第2回審議会

期 日 平成25年3月15日
 場 所 三重県教育委員会教育委員室（津市広明町13番地）
 内 容 審議 平成24年度三重県指定候補文化財の調査報告について
 平成24年度三重県指定文化財の指定等について
 答申 三重県指定文化財の指定等に関する答申
 報告 国指定等文化財の指定等について
 国・県指定文化財の現状変更等について

3 三重県指定文化財の指定

阿弥陀寺の五輪塔（あみだじのごりんとう）

種別	有形文化財（建造物）
員数	1基
時代	鎌倉時代後期
所在地	伊賀市川東
所有者	宗教法人阿弥陀寺
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第6号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	建49
概要	

阿弥陀寺の五輪塔は、花崗岩製で、高さ242cmの大型の五輪塔である。

全体の規格としては、高さでは水輪高と地輪高はほぼ同じ数値であり、形態的にも各部のラインも西大寺奥の院叡尊供養塔（以下叡尊塔）と酷似しており、各部の比率もほぼ同様な数値を示している。地輪比率は叡尊塔に比してやや高いが、それ以外は叡尊塔とほぼ同じ比率を示す。故に本塔のモデルとして叡尊塔があった事はほぼ確実である。全体の形としては、比率的に見て火輪の幅がやや狭い点と空輪上部の膨らみがやや弱い事、水輪上部の膨らみもやや弱い点が指摘できる。それらは本塔が叡尊塔にきわめて近いが、叡尊塔よりは時代的にやや降る事を示している。叡尊は正応3年（1290）没で、石塔は直後に造立されたと考えられるので、没後から1300年頃までの年代推測が可能である。よって本塔の造立はその時点よりもやや降った時点を考えるべきである。

本例の造立年代は、各部の形態から鎌倉時代後期のものである可能性が高く、県内のこの時期の石造五輪塔の典型と評価できる。保存状態も良好である。さらに「西大寺諸国末寺帳」に記される伊賀国12ヶ寺のひとつである「三部野 大聖寺」の遺品である可能性があり、西大寺の伊賀進出を示すものとしても貴重な資料である。



木造十一面観音菩薩立像（もくぞうじゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう）

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 軀
時代	平安時代後期
所在地	伊賀市島ヶ原
所有者	宗教法人観菩提寺
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第6号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	彫125
概要	

本像は、観菩提寺本堂の脇壇に伝えられる四軀の木造観音菩薩立像のうちの一軀で、向かって最左端に安置される十一面観音菩薩立像である。像高170.7cm。檜とみられる針葉樹材の寄木造であるが、豎一材で頭・体幹部の大部を彫出し、背面から内割りを入れ、別材を背板状に矧ぐという一木造風に似せた構造をもつ。両端垂下部（後補）を除く天衣を左右の側面材から彫出し、左手肘先は後補であるが、右手は肩先から手先までを一材製とし当初の掌をほぼのこしている。

髻、後頭部など地髪を平彫りとして毛筋をまったくあらわさず、天冠台下のみ疎彫りとする。着衣の縁を浅く彫り出し、背面左側の条帛垂下部をかるうじて認めうる程度に極めて薄くあらわし、条帛・裙・天衣に、ほとんど衣襞を彫出さない。全体的に平面的で簡略な彫り口を示し、その面貌も目や小ぶりの口を浅く彫り出した抑揚の少ない目鼻立ちで、平明で穏やかな表情をつくっている。こうした作風は、本像が平安後期、定朝以後の和様を受けた像であることを示しているが、一木造を意識したような構造や同時期の神像や立木仏のように衣襞をほとんどつukらない点は、やや特異である。

そのふくよかな耳朶や頬、量感ある肩や腕の表現、柔軟さを残した彫り口から、制作年代は12世紀前半を下るものではないであろう。既に県有形文化財に指定されている同寺本堂脇壇の他の3軀の観音菩薩立像（聖観音菩薩像1軀・十一面観音菩薩像2軀）に比しても、本像はほぼ同規模、かつ最も都ぶりの作風をもつものである。



木造観音菩薩立像 附 頭上面

(もくぞうかんのんぼさつりゅうぞう つけたり ずじょうめん)

種別	有形文化財（彫刻）
員数	1 軀 附 7 面
時代	平安時代後期
所在地	津市一身田中野
所有者	一身田中野区自治会
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第6号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	彫 126
概要	本像は津市一身田中野の旧慈眼寺小堂に祀られる観音菩薩立像で、同地区自治会によって管理される。

津市指定時には十一面観音であったが、近年の修理で後補の仏頂面・変化面すべてを別置とし、現状は観音菩薩立像である。

檜と思われる針葉樹材製の一木割矧造りによる像で、両肩を含む頭体幹部を縦一材から彫り、まず両肩を割矧いだ後、頭体幹部を両耳の後ろで前後に割矧いで内割りを施している。さらに割首をし、左は肩と肘で矧ぎ、右は肩と手首で矧ぐ。頭体幹部材と両肩材に同材を用い木目を揃えているところに、一木造への拘りが認められる。

頭上面（別置）のすべて、髻上半部、鼻先、左肩接合部および左上膊外側、天衣の右手首に懸る以外のすべて、左肘先、右手首先、両足先、両足柄の大部、銅製腕・臂釧、光背、台座が後補であり、表面も当初は漆箔とみられるが、現状は古色仕上げとなっている。修補箇所は全体に見られるものの、両肩や衣襷に至るまで穏やかでゆったりとした曲線をなし、温和な目鼻立ちや浅い衣文の彫口に藤原和様の作風をよく残しており、平安後期にさかのぼる作例として貴重である。とくに童子風の丸顔や頭部の大きめな体形、ふっくらとした肉どりは、巧緻化されず、おおらかさが残っている。その制作は12世紀も前半頃と考えられる。県下の平安後期観音菩薩像の佳品である。

別置の頭上仏・変化面も、本像が製作されてから現在に至るまでの歴史をたどるうえで貴重な資料であり、附指定とする。



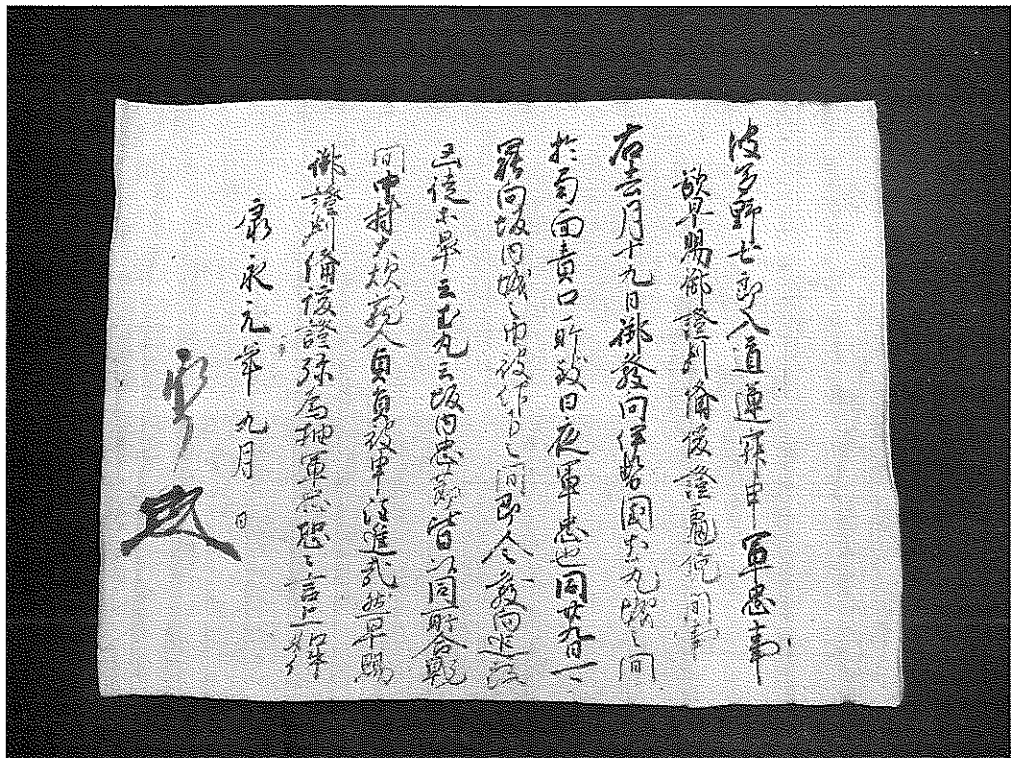
波多野文書 (はたのもんじょ)

種別	有形文化財 (古文書)
員数	9通
時代	南北朝時代から室町時代
所在地	亀山市若山町
所有者	個人
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第6号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	古63
概要	波多野文書は、近世初期から関(亀山市関町)に居住していた波多野家に伝来する文書群である。

波多野文書は、近世初期から関(亀山市関町)に居住していた波多野家に伝来する文書群である。

本文書は、南北朝時代から戦国時代のもので、建武3年(1336)の「波多野蓮寂軍忠状」をはじめとする9通からなっている。いずれも成巻・軸装等なされておらず、「まくり」の状態である。「足利尊氏感状」と「長野藤定書下」には表具の痕跡が認められ、建武3年の「足利尊氏感状」には、裏打ちや、日焼けによる変色の認められるのが惜しまれるが、その他の文書は、中世文書の原型を「うぶ」な状態で残しており、貴重である。透過光を用いた顕微鏡による精査の結果、紙質・筆跡・墨色等、あらゆる観点から見て、当該期の一級文書群と見なすことができる。

なかでも、康永元年(1342)の「波多野蓮寂軍忠状」は、南北朝初期の玉丸城・坂内城をめぐる北畠氏と足利方との合戦の様子を伝える史料として、既に一定の評価を得ており、また永正7年(1510)「平秀盛伝授蹴鞠図」と、占術に関するものと思しき永禄8年(1565)の「秘伝書」は、地方の武家文書としてはきわめて珍しい。



3 波多野蓮寂軍忠状

大淀三千風遺墨並びに関係資料 附 一柳亭贈手文庫

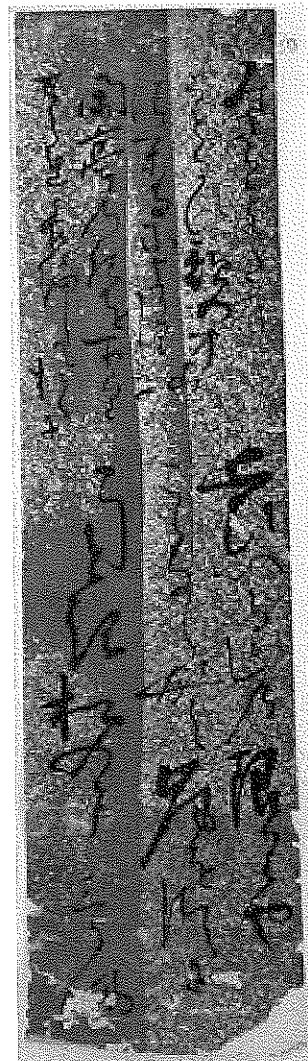
(おおよどみちかぜいぼくならびにかんけいしりょう つけたり いちりゅうていぞうてぶんこ)

種別	有形文化財（書跡）
員数	72点 附 1点
時代	江戸時代
所在地	松阪市殿町
所有者	松阪市
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第6号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	書64
概要	

大淀三千風（1639～1707）は、飯野郡射和村（現松阪市射和町）出身の談林派俳諧師で、本姓三井、名は友翰（ともふみ）。全国を行脚し、『日本行脚文集』7巻7冊ほかの俳諧紀行を編む。近世文学史上、三千風が特筆されるのは、一昼夜独吟の句数を競う矢数俳諧の作者としてである。

射和の三井家に残された当該遺墨・遺品・その他関係資料は、縁戚の山本家に受け継がれた。当該資料の内訳は、三千風自筆の俳諧短冊及び懐紙・文詞・書簡等19点、三千風追悼句・法事記録・弔書・知友及び門人の短冊・三千風作句他筆短冊等52点、村井道静の描く三千風画像1点。彼が讃岐の俳人一柳軒寸木より貰い受けた遺愛の手文庫を附とする。

大淀三千風は、蕉風以前の俳壇に流行した矢数俳諧の実力者として、或いはその独自の俳風を以て異彩を放ち、近世文学史上に特筆される人物である。しかし、現存する真跡等は極めて少なく、当該遺墨と関係資料が最もまとまった三千風資料群といえる。また、それは伝来の上でも、後裔が守り伝えた一括資料として重要であると共に、学術資料としての高い信頼性を併せ持つ。



上：三千風広幅短冊「思ひいる」

下：一柳亭贈手文庫



東日野・西日野の大念仏（ひがしひの・にしひののだいねんぶつ）

種別	無形民俗文化財
所在地	四日市市東日野町・西日野町
保持団体	東日野町大念仏保存会・西日野町大念仏保存会
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第7号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	無民41
概要	

本行事の特色として、(1) 大きな太鼓と鉦とが用いられ、太鼓はその打ち方など一定の形式が伝承され、念仏行事として明確に伝承されていること、(2) 両町が、相互に行列を組み相手方の町へ懸け合うという形式が伝えられていること、(3) 練りこみにあたり、両町の境で出迎えと送りの儀礼が行われること、(4) 「ヨセ」と称する所作があり、「懸け」の様相が見られること、(5) 行事の場所は寺院や神社が含まれるが、僧侶や神職が行事そのものに関わるのではなく、共同体行事として行われていること、(6) 「カガミセミ」を代表に、「行司」役、太鼓・鉦・横笛の各役割を分担し、行事組織が明確にされ、特に青壮年が共同体行事の力役を担う形式が明確であること、があげられる。

本行事は、踊りを伴うものではないが、巨大化して昇物となった太鼓と双盤一対による一種の練物である。隣接する共同体が懸け合うという競合のなかで大念仏が風流化したものと考えられ、中世以来の民俗文化としての村落行事の特徴を今に継承するきわめて重要な無形民俗文化財と評価できる。



西日野 太鼓



東日野 太鼓

逆柳の甌穴 (さかやなぎのおうけつ)

種別	天然記念物
員数	2基
所在地	伊賀市高尾字逆柳1066番地先 普通河川 床並川
所有者	伊賀市
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第8号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	天102

概要

逆柳の甌穴は、床並川の川幅や流速などからすると、格段に大きいものといえる。床並川の流速を小さくしている原因は、下流部に設けられた床並堰堤の影響が大きい。床並川の河床では、甌穴を発達させる侵食作用は現在も継続している。

甌穴自体は、日本各地の侵食力の大きい河川中上流部によく見られる。しかし、規模の大きなものや形の良い甌穴の多くは、国天然記念物や県の天然記念物に指定され、保護されている。

逆柳の甌穴は、これらと比べ決して劣るものでなく、価値の高い地学的景観の一つといえる。



雄井戸



雌井戸

嘉例川ヒメタイコウチ生息地 (かれがわひめたいこうちせいそくち)

種別	天然記念物
員数	—
所在地	桑名市大字嘉例川字北谷
所有者	桑名市
告示	教育公報第1664号三重県教育委員会告示第8号
指定日	平成25年3月25日
指定番号	天101
概要	

ヒメタイコウチは香川県から静岡県にかけての湧水地のみ分布する希少種である。三重県においては、桑名市、東員町、四日市市、鈴鹿市で生息記録がある。

桑名市は三重県における重要な生息域で、長島町を除く旧桑名市域及び多度町の丘陵地や台地を中心に分布する。特に嘉例川上流部は、集水地形を呈するため、湧水が豊富な地形構造となっており、多数のヒメタイコウチが生息する県内有数の生息地となっている。

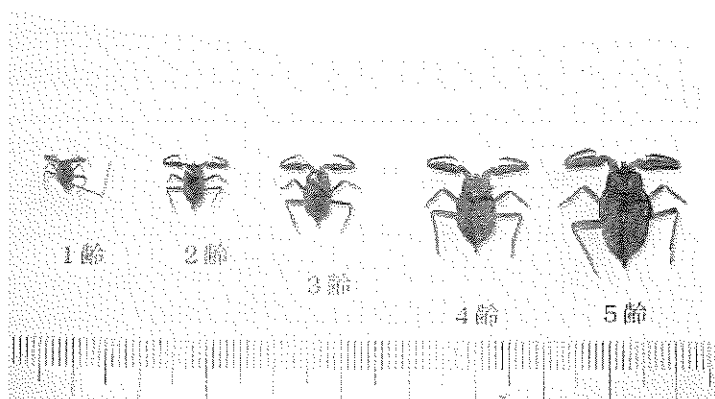
この地域は、氾濫原環境を特徴づける希少種であるヤガミズゲが高密度に繁茂することから、洪水の影響を受ける環境下にあることが推測される。

2011年7月に洪水の影響を受け、ヒメタイコウチの個体数が激減したが、2012年7月には、3令から5令までの幼生を確認し、個体数は順調に復活している。

嘉例川ヒメタイコウチ生息地は、県内有数のヒメタイコウチの生息地で、保存状況も良好である。



ヒメタイコウチ生息地



嘉例川の
ヒメタイコウチ

4 市町指定文化財の指定・解除

(1) 市町指定文化財の指定

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	指定日
津市	歴史資料	阿保家大砲関連資料並びに同鑄物師関連資料	84点	津市乙部	個人	H24. 3. 28
伊賀市	典籍	高山公実録	25冊	伊賀市上野丸之内	伊賀市	H24. 3. 28
伊賀市	歴史資料	安政伊賀上野地震供養塔	1基	伊賀市野間	宗教法人 慶明寺	H24. 3. 28
東員町	天然記念物	観音もみじ		東員町大字瀬古泉	瀬古泉自治会	H24. 3. 29
四日市市	絵画	釈迦三尊十六善神図	1	四日市市安島一丁目	宗教法人 大樹寺	H24. 8. 23
四日市市	絵画	蓮華図	1 (2幅一対)	四日市市安島一丁目	宗教法人 大樹寺	H24. 8. 23
伊勢市	建造物	極楽橋	1基	伊勢市朝熊町字岳	宗教法人 金剛證寺	H24. 9. 24
伊勢市	工芸品	左衛門太郎六字名号碑	1基	伊勢市岡本3丁目	中村区共有財産自治会	H24. 9. 24
伊勢市	有形民俗文化財	不断念仏講札額	9面	伊勢市久世戸町	本誓寺	H24. 9. 24
伊賀市	建造物	石造宝篋印塔	1基	伊賀市玉滝	川上自治会	H25. 2. 12
伊賀市	歴史資料	上野城下町絵図	1幅	伊賀市上野丸之内	伊賀文化産業協会	H25. 2. 12
伊賀市	歴史資料	元禄13年伊賀国絵図	1幅	伊賀市上野丸之内	伊賀文化産業協会	H25. 2. 12
伊賀市	天然記念物	高德寺のカゴノキ		伊賀市高山	宗教法人 高德寺	H25. 2. 12
伊賀市	天然記念物	ギフチョウ		伊賀市予野		H25. 2. 12

(2) 市町指定文化財の解除

市町名	種別	名称	員数	所在地	所有者・ 管理者・ 技術保持者	解除日
御浜町	天然記念物	夏柑大樹		南牟婁郡御浜町志原	個人	H24. 3. 14
伊賀市	彫刻	梵天・帝釈天像	2軀	伊賀市島ヶ原	宗教法人 観菩提寺	H24. 4. 25

II 県実施の調査・保護事業

1 特別天然記念物カモシカ（S30.2.1指定）調査〔国2/3 1,716千円補助・県 483千円〕

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査

① 調査目的

おおむね6年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成24年度は特別調査の行われない年で、紀伊山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

② 調査体制

調査主体	三重県教育委員会（幹事県）・奈良県教育委員会 紀伊山地カモシカ保護地域通常調査は、業務の効率化等を図るため、関係2県の中から幹事県を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議の運営に関する事務を一括して実施する。幹事県は三重県。
調査指導	富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田 明正（三重大学名誉教授） 山野 直也（元日本カモシカセンター職員）
現地調査	三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員） 今西 隆次・河合 信行（松阪市） 岡本 宏之・水谷 哲也（大台町） 玉津 直人・宮坂幸治郎（紀北町紀伊長島区） 大西 克明・川端 将文（紀北町海山区） 吉澤 映之・吉澤 重之（尾鷲市）

③ 紀伊山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日	平成24年8月17日（金）
場所	大台町役場 会議室
出席者	富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 山野 直也（元日本カモシカセンター職員） 三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員） 関係市町教育委員会・県教育委員会

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

① 調査目的

おおむね6年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。平成24年度は特別調査を行わない年で、鈴鹿山地保護地域及びその周辺地域で実施した。

② 調査体制

調査主体	三重県教育委員会
調査指導	富田 靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田 明正（三重大学名誉教授） 山野 直也（元日本カモシカセンター職員）
現地調査	三重県文化財保護指導委員（カモシカ調査員） 坂倉 義行・近藤 恒三（いなべ市藤原町）

小森 良一・出口 幸雄 (いなべ市北勢町)
 岩花 正己・山下 久雄 (いなべ市大安町)
 満田 学・内山 潔 (菰野町)
 棚瀬 順正・棚瀬賢一郎 (四日市市)
 前田 有・前田 伸士 (鈴鹿市)

③ 鈴鹿山地カモシカ通常調査連絡会議

開催日 平成24年8月22日(水)
 場所 菰野町役場 4F会議室
 出席者 武田 明正 (三重大学名誉教授)
 三重県文化財保護指導委員 (カモシカ調査員)
 関係市町教育委員会・県教育委員会

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

目的 特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・
 個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、
 食害対策等について協議する。
 主催 文化庁・福井県教育委員会
 共催 若狭町・若狭町教育委員会
 期日 平成24年10月11日(木)～12日(金)
 会場 福井県若狭町市場 若狭町立パレオ若狭
 (伊吹・比良山地カモシカ保護地域)
 参加者 富田 靖男・武田 明正 (三重県指導委員)
 藤原 良幸 (三重県教育委員会事務局)

2 埋蔵文化財緊急発掘調査等

(1) 国史跡齋宮跡発掘調査 [総事業費 16,700千円うち 国1/2 8,350千円・県1/2 8,350千円]
 国史跡齋宮跡解明のために、計543㎡の計画調査を実施した。史跡東部にある方格地割のうち、
 下園東区画の実態を解明するための調査である。

次数	地区	面積㎡	現地調査期間	主要遺構・遺物
177	下園地区	543	H24.10.5～ H25.2.14	平安時代前期から中期の掘立柱建物、土坑など。 土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器など。

(2) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査

[農林水産部執行委任調査・埋蔵文化財センター 総事業費54,669千円うち農家負担分3,405千円
 国1/2 1,702千円・県 1,703千円]

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構・遺物
田丸道遺跡	度会郡玉城町中楽	高度水利機能確保基盤整備事業	H24.9.18～ H24.11.27	236	溝・柱穴 土師器

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m ²	主要遺構・遺物
堀町遺跡	松阪市朝田町	高度水利機能確保基盤整備事業	H24. 5. 23～ H25. 2. 2	4,396	掘立柱建物・井戸・溝・土坑・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・土製品・木製品・編組製品・鉄滓
朝見遺跡	松阪市立田町	高度水利機能確保基盤整備事業	H24. 12. 10～ H24. 12. 11	236	溝 土師器・山茶碗 工事立会調査を実施
大角遺跡	松阪市朝田町大角	高度水利機能確保基盤整備事業	H24. 10. 24	64	溝・柱穴 土師器・灰釉陶器・山茶碗 工事立会調査を実施
山室遺跡	津市川方町	担い手育成整備事業			整理作業
椋本南方遺跡	津市芸濃町椋本	担い手育成整備事業			整理作業
計				4,932	

(3) 埋蔵文化財出土遺物保存処理 [国 1/2 900千円・県 1/2 900千円]

伊勢市落合古墳群出土の鉄製品の内、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成24年度は、鉄鏃等の保存処理を実施。(処理受託 株式会社吉田生物研究所)

3 新たな地域文化発掘推進事業

(1) 石造物調査 [国 1/2 1,000千円・県 1/2 1,000千円]

当事業は、世界遺産に登録されている東紀州地域と、それに隣接する南伊勢地域の石造物調査を行い、世界遺産登録地域に止まらず、伊勢神宮から熊野三山に至る熊野参詣道伊勢路の地域文化の豊かさを証明することを目的に、多気町、大台町、南伊勢町、伊勢市、度会町、玉城町を対象に、管内の石造物の悉皆調査を目的として国庫補助を受けて実施し、現地調査と報告書作成を行った。

調査にあたっては、「石造物調査員」を任命した。また、学術的な助言を得るため、学識経験者に助言を依頼した。

① 調査員

[多気町] 遠 晴世、山添 田鶴子、須崎 節代、長森 富次郎、御子 暢秀、
岡井 幸代、西村 尚士、長谷川 源一、長谷川 光宏、中北 義郎、
森本 道生、西川 昭雄、梅川 節夫、森嶋 みつ子、田畑 佳子、
笹木 文夫、大久保 久雄、小山 秀司、中村 修、三井 博之、
池村 健治、野村 光雄、辻 洋史、川口 晃、長谷川 順一、
鈴木 茂生、瀧本 昌弘、太田 満喜雄、日比野 雄

〔大台町〕	西村 用蔵、梅本 幸一、古戸 明、高松 隆吉、川竹 守、 巽 幸則、林 幸子、西村 宣子
〔南伊勢町〕	幸田 壽、浅井 正道、東 功、岡 與一、脇 佐武郎、 加藤 實、加藤 多喜男、岸井 明、中村 英孝、村田 喜久子、 山本 篤、中世古 祥道
〔伊勢市〕	濱口 主一、石井 昭郎、阿形 次基、濱千代 日出雄、辻村 修一、 二見 進、西田 恒郎、上田 實、中西 弘、上之郷 勝、 中瀬 誠一、岡谷 昌行、小林 薫
〔玉城町〕	田垣 喜久雄、中世古 俊治、岩崎 保、疋田 武、酒井 光廣、 松田 靖行
〔度会町〕	神森 正春、真瀬 瑞穂、北畠 弘道、橋本 丈男、岡谷 昌行、 山下 弥十郎、中津 智美、馬瀬 章、世古 武一

② 助言者

塚本 明	(三重大学教授) *歴史学
野村 史隆	(鳥羽市教育委員会) *民俗学
狭川 真一	((財)元興寺文化財研究所研究部長) *考古学

(2) 海女習俗詳細調査 [国 1/2 1,001千円・県 1,002千円]

平成24年度から鳥羽志摩地域の「海女習俗」に対して、聞き書きを中心とする民俗調査を2ヶ年計画で実施している。調査内容としては、地域の民俗社会や歴史の情報を把握することを目的として、海女漁の従事者本人を対象に、聞き書き調査や文書所在確認を実施するとともに、調査結果を取りまとめる。当年度は、基礎調査に引き続き国庫補助を受け、事業費のうち2,003千円については国庫補助事業「海女習俗詳細調査 民俗文化財調査」(国費補助率1/2)として実施した。

事業に対して学術的な助言等を得るため、学識経験者に「調査指導委員」を依頼し、調査指導委員会議を開催した。また、現地調査にあたっては、「調査員」を依頼するとともに、現地調査を開始するにあたり合同調査会を実施した。

① 調査指導委員

植木 行宣	(前三重県文化財保護審議会委員) *民俗学
櫻井 治男	(皇學館大学教授) *民俗学
塚本 明	(三重大学教授) *歴史学
小島 孝夫	(成城大学教授) *民俗学
野村 史隆	(鳥羽市教育委員会) *民俗学
吉村 利男	(三重大学客員教授) *歴史学

② 調査員

伊藤 芳正、中井 裕子、山本 恵美加、橋本 好史、畑 純子、松村 春恵、
川口 祐二、山下 良子、山本 実 他15名

③ 調査指導委員会議

第1回	開催日時	平成24年5月28日(月)	13:30から
	開催場所	三重県庁7階 教育委員会室	
第2回	開催日時	平成24年6月29日(金)	16:30から
	開催場所	鳥羽市中央公民館	

- 第3回 開催日時 平成25年1月23日(金) 13:00 から
 開催場所 三重県吉田山会館 205会議室
- 第4回 開催日時 平成25年3月2日(土) 15:40 から
 開催場所 鳥羽市中央公民館

④ 合同調査会

- 第1回 開催日時 平成24年6月29日(金) 18:00 から
 開催場所 鳥羽市中央公民館
- 第2回 開催日時 平成24年12月9日(日) 13:00 から
 開催場所 三重県志摩庁舎1階小会議室

4 史跡等及び埋蔵文化財公開活用

(1) 史 齋宮跡 [事業費 97,192千円うち 国 1/2 48,596千円・県 1/2 48,596千円]

事業概要 平成21年度に作成した「史跡齋宮跡東部整備基本計画書」に基づき、平安時代の齋宮寮の寮庁の一面だったと考えられる柳原区画とその周辺部の整備事業を実施する。

24年度事業 整備地の基盤整備工事と平成25年度から建築する復元建物3棟の実施設計を行ったほか、整備事業地周辺の実態解明のために史跡東部方格地割の下園東区画で310㎡の発掘調査を実施した。

(史跡整備に伴う発掘調査)

次数	地区	面積㎡	現地調査期間	主要遺構・遺物
176	西加座地区	310	H24.5.25～ H24.9.28	平安時代前期の9世紀を中心とした掘立柱建物、土坑、溝など。土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、墨書土器など。

(2) 県内埋蔵文化財 [国 1/2 2,358千円・県 1/2 2,358千円]

埋蔵文化財を題材とした学習教材を製作し、学校等への出前講座や体験事業において活用した。平成24年度は「三重の文化財すごろく」、紙芝居2種類、大型パズル、銅鏡の模造品を製作した。

5 重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理

[事業費 2,040千円うち 国 1/2 1,020千円・県 1/2 1,020千円]

① 事業概要

齋宮跡出土品について保存修理を行う。平成24年度は、緑釉陶器1点、土師器3点、土馬1点の解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩を行った。

② 事業期間

平成24年4月10日から平成25年3月15日

③ 修理受託

財団法人 元興寺文化財研究所
 株式会社 吉田生物研究所

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物保存修理事業

重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟〔H14.12.26指定〕

事業者 公益財団法人 諸戸財団

事業費 総事業費 2,200,000千円 (平成22～31年度)

平成24年度 130,000千円 [国85% 110,500千円・県7.5% 9,750千円]

事業概要 平成22～31年度で主屋ほか5棟の解体・半解体工事を行う。平成24年度は、広間の揚屋・解体(平成23年度繰越事業)、玄関及び座敷の揚屋・解体工事を行った。

設計監理 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

工事請負 株式会社 竹中工務店三重営業所

(2) 建造物防災施設事業

重文 来迎寺本堂〔S63.5.11指定〕

事業者 来迎寺

事業費 3,856千円 [国50% 1,928千円・県10% 385千円]

事業概要 放水銃消火設備のうち、ポンプ部分の機器交換を行った。

工事請負 オーエムシー株式会社

(3) 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市

事業費 23,926千円 [国50% 11,681千円・県7% 1,635千円]

事業概要 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区内における建造物等の保存のための修理・修景工事。修理3件、修景1件。(半解体修理3件、新築修景1件)

設計監理 中浦建築事務所

シンカイ設計

工事請負 地元建築会社等

(4) 伝統的建造物群保存対策調査事業

① 重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区(見直し)〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市

事業費 2,000千円 [国50% 1,000千円・県7% 140千円]

事業概要 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物群及びこれと一体をなす環境の保存状況に関する調査とこれに基づく保存対策の策定(2ヶ年事業の2年目)。

業務委託 地元業者他

② 重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区(防災)〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市

事業費 2,017千円 [国50% 1,000千円・県7% 140千円]

事業概要 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物群及びこれと一体をなす環境の保存状況に関する調査及びこれに基づく保存防災対策の策定(2ヶ年事業の1年目)。

業務委託 地元業者他

(5) 重要文化財建造物等公開活用事業

① 重伝建 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区〔S59.12.10選定〕

事業者 亀山市
事業費 12,806千円〔国50% 6,250千円・県7% 875千円〕
事業概要 旧田中家住宅を公開活用するため、主屋の修理・整備、敷地内の非伝統的建造物の修景・整備、敷地及び付属施設の整備を行う。
設計監理 ARTS アーツ設計
工事請負 服部美建株式会社

② 登録 白川小学校校舎南棟及び北棟〔H21.8.7登録〕

事業者 亀山市
事業費 7,023千円〔国50% 3,503千円・県10% 700千円〕
事業概要 平成24～26年度で耐震工事を行う。平成24年度は耐震工事設計を行った。
設計指導 株式会社 文化財構造計画 富永善啓
業務委託 株式会社 前野建築設計

(6) 美術工芸品保存修理事業

① 重文 専修寺聖教ほか1件〔H20.7.10指定〕

事業者 宗教法人 専修寺
事業費 4,875千円〔国50% 2,437千円・県10% 487千円〕
事業概要 専修寺聖教82点のうち4冊について修理を行う。平成24年度は「観経玄義分巻一」・「観経序分義巻二」・「観経正宗分定善義巻三」・「観経正宗分産善義巻四」について調査、解装、本紙補修等を行った。また、国宝西方指南抄の保存箱を作製した。
修理委託 株式会社 松鶴堂

② 重文 佐藤家文書〔H23.6.27指定〕

事業者 公益財団法人 石水博物館
事業費 3,243千円〔国50% 1,783千円・県10% 324千円〕
事業概要 佐藤家文書七巻の修理を行う。平成24年度は調査、解装、本紙補修等を行った。
修理委託 株式会社 松鶴堂

(7) 美術工芸品調査事業

長谷川家文書

事業者 松阪市
事業費 総事業費 16,570千円（平成20～24年度）
平成24年度 5,070千円〔国50% 2,535千円・県7% 354千円〕
事業概要 平成20～24年度の5ヶ年事業として史料調査を行う。平成24年度の調査は、指導委員会の指導のもと、月2回実施し、調査カード化及びマイクロフィルム撮影を行い、目録の刊行を行った。
調査指導員 下村登良男（松阪市文化財保護審議会会長）
門 暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）
高倉 一紀（皇學館大学教授）
塚本 明（三重大学教授）

茂木 陽一 (三重短期大学教授)
指導委員会 平成24年8月20日、平成25年1月30日

(8) 美術工芸品防災施設事業

重文 木造十一面観音立像〔T2.8.20指定〕
事業者 宗教法人 近長谷寺
事業費 409千円〔国85% 347千円・県10% 40千円〕
事業概要 雷害により、平成21～23年度の国庫補助事業で設置した防災施設が被害を受けたため、災害復旧として非常通報装置及びハブの交換等を行った。
工事請負 日本土建株式会社

(9) 重要無形文化財保持団体補助事業

重無 伊勢型紙〔S30.2.15 保持者認定、H5.4.15 指定・保持団体認定〕
事業者 伊勢型紙技術保存会
事業費 11,600千円〔国定額 10,000千円・県定額 700千円〕
事業概要 技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料(型地紙)や諸道具の確保を行い、技術の保存を図る。普及啓発のため、文化庁主催展覧会「日本のわざと美」などに作品を出品した。

(10) 民俗文化財伝承・活用等事業

① 重無民 桑名石取祭の祭車行事〔H19.3.7指定〕

事業者 桑名石取祭保存会
事業費 7,257千円〔国50% 3,628千円・県10% 725千円〕
事業概要 平成24～25年度で西船馬町祭車の本楽用水引幕の復元新調を行う。
修理委託 株式会社 川島織物セルコン

② 重無民 鳥出神社の鯨船行事〔H9.12.15指定〕

事業者 富田鯨船保存会連合会・北島組鯨船神社丸保存会
事業費 6,480千円〔国50% 3,240千円・県10% 648千円〕
事業概要 北島組鯨船神社丸の水押サガリの復元新調を行うとともに、事業報告書の印刷刊行を行った。
修理委託 百武打敷店

③ 重無民 上野天神祭のダンジリ行事〔H14.2.12指定〕

事業者 上野小玉町自治会
事業費 総事業費 19,458千円 (平成22～24年度)
平成24年度 5,430千円〔国50% 2,715千円・県10% 543千円〕
事業概要 平成22～24年度で小玉町楼車小蓑山の見送幕の復元新調を行った。
修理委託 株式会社 龍村美術織物

(11) 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

① 史 伊勢国分寺跡〔T11.10.12指定〕

事業者 鈴鹿市
事業費 30,000千円〔国50% 15,000千円・県7% 2,100千円〕
事業概要 平成18年度に作成した「史跡伊勢国分寺跡整備基本計画」に基づき、隣接する鈴

鹿市考古博物館と一体となった整備事業を実施する。平成24年度は、前年度に行った実施設計にしたがって、講堂・僧坊などの遺構表示等の整備工事を実施した。

検討委員 伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
小野 健吉 (奈良文化財研究所文化遺産部長)
加藤二三子 (元鈴鹿市青少年育成市民会議会長)
桐生 明光 (国分町自治会長)
桐生 悦夫 (元河曲地区青少年育成町民会議会長)
箱崎 和久 (奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長)
橋爪 貴子 (NPO法人五十鈴塾理事)
八賀 晋 (三重大学名誉教授)
林 紘 (鈴鹿市考古博物館サポート会会長)
渡辺 寛 (皇學館大学名誉教授)

検討委員会 平成24年12月18日

② 史 旧豊宮崎文庫〔T12.3.7指定〕

事業者 伊勢市
事業費 8,086千円〔国50% 4,043千円・県7% 566千円〕
事業概要 史跡旧豊宮崎文庫の門および土塀の傷みが激しいことから、保存修理を実施する。平成24年度は、門、土塀の一部解体を行って修理を実施するとともに、発掘調査を行って、現在は埋没している北側の堀の遺構の位置や遺存状況を確認した。

指導委員 菅原 洋一 (三重大学教授)
上野 秀治 (皇學館大学教授)
山澤 義貴 (伊勢市文化財保護審議会委員)

指導委員会 平成24年6月5日

③ 史 上野城跡〔S42.12.27指定〕

事業者 伊賀市
事業費 10,000千円〔国50% 5,000千円・県7% 700千円〕
事業概要 「史跡上野城跡保存整備(前期)実施計画」にもとづき、城代家老屋敷跡を中心に発掘調査等により遺構の解明を図り、その成果を踏まえて保存整備を進めることにより、文化財としての価値を顕在化し活用を図る。平成24年度は、崩落の危険があった表門石垣北面の解体修復工事を行ったほか、台所門周辺において、発掘調査で検出された石組溝の修復工事や、石段の環境整備工事、遺構の遺存状況確認のための発掘調査等を実施した。

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
増淵 徹 (京都橘大学教授)
高瀬 要一 (紀伊風土記の丘館長)
千田 嘉博 (奈良大学教授)
菅原 洋一 (三重大学教授)
藤田 達生 (三重大学教授)

指導委員会 平成24年10月5日

④ 史 崇広堂〔S5.11.19指定〕

事業者 伊賀市
事業費 3,000千円〔国50% 1,500千円・県7% 210千円〕
事業概要 史跡旧崇広堂の東・南・西土塀は、平成17年頃より壁面のひび割れと漆喰壁の剥

落等を生じているため、保存修理を実施する。平成24年度は、南土塀の西側の一部と東側の修理工事を行った。また、前年度に引き続き排水溝改修工事も実施した。

指導委員 鈴木 嘉吉 (元奈良国立文化財研究所長)
菅原 洋一 (三重大学教授)

指導委員会 平成24年7月31日

⑤ 史 熊野参詣道〔H14.12.19指定〕

事業者 熊野市

事業費 1,807千円〔国70% 1,264千円〕(災害復旧)

事業概要 史跡熊野参詣道のうち熊野市内に位置する通称「風伝峠道」が平成23年の台風12号によりき損したため、その復旧を実施する。崩落した道の路肩を土嚢や石積み等で復旧したほか、法面の転石等を処分し、道として歩けるよう整備した。

⑥ 名 諸戸氏庭園〔H14.12.19指定〕

事業者 公益財団法人 諸戸財団

事業費 32,106千円〔国50% 16,053千円・県10% 3,210千円〕

事業概要 諸戸氏庭園は、江戸初期に造営された山田氏林泉をもとに、明治初期に諸戸氏により増改築され、大正年間に現在の形となった庭園であるが、庭園を構成する施設群の毀損や劣化があるため、調査を行って修理内容の検討を行ったうえで修復、整備工事を進める。平成24年度は前年度に引き続き、溝渠の浚渫と、庭園の空間性を取り戻すための修復剪定を実施した。また、今後の修理対象となる溝渠護岸については、写真測量及び図化による記録を行うとともに、当初工法の記録及び今後の修理工法検討に資するため、試掘調査を行った。

施工監理 株式会社 環境事業計画研究所

指導委員 尼崎 博正 (京都造形芸術大学教授)

大橋 則久 (桑名市教育委員会教育長)

菅原 洋一 (三重大学教授)

平澤 毅 (奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室長)

麓 和善 (名古屋工業大学大学院教授)

花里 利一 (三重大学教授)

指導委員会 平成24年6月29日、平成25年2月4日

⑦ 名 旧諸戸氏庭園〔H13.8.13指定〕

事業者 桑名市

事業費 16,632千円〔国50% 8,316千円・県7% 1,164千円〕

事業概要 名勝旧諸戸氏庭園の北西に位置し、庭園の構成要素となっている北側瓦葺土塀(約26m)と西側瓦葺土塀(約37m)が庭園側に傾斜し倒壊の危険性があり、仮設の支え柱で支えている状況であるため、平成22～24年度にかけて学識経験者の指導を得ながら土塀の修理を実施する。平成24年度は土塀の漆喰仕上げを行うとともに、土塀周辺の排水関係の整備工事を行った。

設計監理 株式会社 林廣伸建築事務所

指導委員 菅原 洋一 (三重大学教授)

指導日 平成24年8月29日、12月27日

⑧ 天 金生水沼沢〔S12.4.17指定〕

事業者 鈴鹿市
事業費 1,438千円〔国70% 1,006千円・県10% 143千円〕(災害復旧)
事業概要 天然記念物 金生水沼沢植物群落における防柵フェンス、観察路、水路の浚渫等の災害復旧工事を行った。

⑨ 名 赤目の峡谷〔T14.10.8指定〕

事業者 名張市
事業費 2,100千円〔国70% 1,470千円〕(災害復旧)
事業概要 名勝 赤目の峡谷における遊歩道、路盤の復旧ならびに倒木処理を行った。

(12) 史跡等買上事業

① 史 多気北畠氏城館跡(直接買上)〔S11.9.3指定、H18.7.28・H24.1.24追加指定〕

事業者 津市
事業費 42,758千円〔国80% 34,206千円・県7% 2,993千円〕
事業概要 史跡多気北畠氏城館跡のうち、中心的な位置にある北畠氏城館跡の東側区域の公有化。638.20㎡を買い上げた。

② 史 齋宮跡(直接買上)〔S54.3.27指定〕

事業者 明和町
事業費 184,866千円〔国80% 147,888千円・県15% 27,729千円〕
事業概要 史跡齋宮跡の公有化(昭和54年度～継続)。平成24年度は6,629㎡(10筆)を買い上げた。

③ 史 伊賀国庁跡(直接買上)〔H21.7.23指定〕

事業者 伊賀市
事業費 18,094千円〔国80% 14,475千円・県7% 1,767千円〕
事業概要 史跡伊賀国庁跡の公有化(平成22年度～継続)。平成24年度は4,522㎡(3筆)を買い上げた。

④ 史 久留倍官衙遺跡(先行取得償還)〔H18.7.28指定〕

事業者 四日市市
事業費 2,815千円〔国80% 2,252千円・県7% 197千円〕
事業概要 平成22年度先行取得(18,303.26㎡)による公有化にかかる起債の償還。(平成22～32年度)

⑤ 史 齋宮跡(先行取得償還)〔S54.3.27指定〕

事業者 明和町
事業費 104,690千円〔国80% 83,749千円・県15% 15,702千円〕
事業概要 平成14年度(12,704㎡)、19年度(5,743㎡)および21年度(7,775㎡)先行取得による公有化にかかる起債の償還。

(13) 史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業

史 久留倍官衙遺跡〔H18.7.28指定〕

事業者 四日市市
事業費 17,683千円〔国50% 8,841千円・県7% 1,237千円〕

事業概要 久留倍官衙遺跡の保存と活用を図るため、史跡公園として整備する。平成24年度は「久留倍官衙遺跡保存整備基本設計書」にしたがって、史跡整備にかかる実施設計を行った。また、史跡の一部について造成など基盤整備工事を実施した。

検討委員 山中 章 (三重大学特任教授)
 黒崎 直 (富山大学名誉教授)
 岡田 登 (皇學館大学教授)
 箱崎 和久 (奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長)
 伊藤 久嗣 (四日市市文化財保護審議会委員)
 中川ゆかり (羽衣国際大学教授)
 中森ゆき子 (四日市市文化振興に関する市民会議委員)
 古市 立美 (久留倍遺跡運営委員会会長)

検討委員会 平成24年11月5日、平成25年2月3日

(14) 埋蔵文化財発掘調査等事業

① 市内遺跡 (四日市市)

事業者 四日市市
 事業費 5,400千円 [国 50% 2,700千円・県 11% 594千円]
 事業概要 北山A遺跡での個人住宅建設に伴う道路建設箇所について、発掘調査を実施し記録保存をおこなった。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
北山A遺跡	四日市市北山町	個人住宅建設	778	古墳時代後期から奈良時代の 竪穴住居・掘立柱建物・土坑 を検出。土師器・須恵器等の ほか、土製紡錘車が出土。

② 市内遺跡 (鈴鹿市)

事業者 鈴鹿市
 事業費 6,000千円 [国 50% 3,000千円・県 11% 660千円]
 事業概要 平成14年に伊勢国府跡として国史跡に指定された長者屋敷遺跡の計画調査を実施し、国庁跡の規模やその全体構造を明らかにする。あわせて市内重要遺跡の確認調査・本調査を実施した。そのほか、『伊勢国府跡15』を刊行した。

i) 伊勢国府跡発掘調査

遺跡名	所在地	原因	期間	面積 m ²	調査概要
長者屋敷遺跡 (30次)	鈴鹿市広瀬町 字丸内	学術調査	H24. 12. 1～ H25. 2. 28	81	丸内南西地区の方格地割 北辺の確認を目的とした 発掘調査を実施。遺構・ 遺物なし。

指導委員 八賀 晋 (三重大学名誉教授)
 川越 俊一 (奈良文化財研究所名誉研究員)
 伊藤 久嗣 (鈴鹿市文化財調査会委員)
 金田 章裕 (人間文化研究機構機構長)
 渡辺 寛 (皇學館大学名誉教授)
 和田 勝彦 (文化財虫害研究所常務理事)

指導委員会 平成25年2月21日

ii) 市内遺跡範囲確認調査

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
鈴ヶ谷遺跡	鈴鹿市住吉町字南大谷	携帯電話無線基地局設置	3	遺構なし・遺物なし
稲生道遺跡	鈴鹿市末広東	葬祭会館建設	13	遺構なし・遺物なし
萱町遺跡	鈴鹿市神戸八丁目	個人住宅建設	8	遺構なし・遺物なし
石薬師東遺跡	鈴鹿市石薬師町字寺東	個人住宅建設	6	遺構なし・遺物なし
北蟻越遺跡	鈴鹿市庄野町字北蟻腰	老人介護施設建設	50	遺構なし・遺物なし
須賀遺跡	鈴鹿市須賀一丁目	個人住宅建設	5	遺構なし・遺物なし
西高山E遺跡	鈴鹿市郡山町字西高山	消防施設建設	10	遺構なし・遺物あり
須賀東部遺跡	鈴鹿市高塚町字神垣	個人住宅建設	10	遺構あり・遺物なし
岡太神社遺跡	鈴鹿市岡田一丁目	長屋住宅建設	13	遺構なし・遺物なし
南原永I遺跡・岸岡山1号窯跡	鈴鹿市南若松町字南原永	農地改良	7	遺構あり・遺物あり
岩ヶ谷遺跡	鈴鹿市平野町字岩ノ谷	個人住宅建設	8	遺構なし・遺物なし
平野遺跡	鈴鹿市平野町字花林	宅地造成	10	遺構あり・遺物あり
中瀬古南遺跡	鈴鹿市中瀬古町字西ノ口	障害者グループホーム・ケアホーム建設	15	遺構あり・遺物あり
岡太神社遺跡	鈴鹿市岡田一丁目	個人住宅建設	6	遺構なし・遺物なし
高ノ瀬遺跡	鈴鹿市山本町字高之瀬	個人住宅建設	10	遺構なし・遺物なし
乙部遺跡	鈴鹿市御園町字中狭間	携帯電話無線基地局設置	6	遺構なし・遺物なし
平野遺跡	鈴鹿市平野町	保育所施設建設	23	遺構あり・遺物あり
本多町遺跡	鈴鹿市神戸四丁目	個人住宅建設	7	遺構なし・遺物あり
狐塚遺跡	鈴鹿市国分町字念佛山	個人住宅建設	19	遺構あり・遺物なし
宮ノ前遺跡	鈴鹿市十宮三丁目	宅地造成	31	遺構あり・遺物あり
西川遺跡	鈴鹿市郡山町	貯水槽設置	7	遺構あり・遺物あり
国府B遺跡	鈴鹿市国府町字浜弓場	駐車場・資材置場開発	30	遺構あり・遺物あり
生水遺跡	鈴鹿市白子町字生水	集合住宅建設	26	遺構なし・遺物なし
計			323	

iii) 市内遺跡本調査

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
磐城山遺跡 (5次)	鈴鹿市木田町字上條	個人農地改良工事	620	弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴住居42棟以上を検出。
狐塚遺跡(国分寺跡37次)	鈴鹿市国分町字念佛山	個人住宅建設	240	ピット数基を検出。調査区西側は削平。
国府A遺跡 (3次)	鈴鹿市国分町字西之条	個人住宅建設	156	建物基礎部分と駐車スペースの2箇所を調査。前者は7世紀代の竪穴住居1棟、溝2条、後者は古代の竪穴住居2棟、大型土坑、溝1条を検出。
計			1,016	

③ 史 市内遺跡(亀山市)

事業者 亀山市

事業費 7,295千円 [国50% 3,647千円・県11% 802千円]

事業概要 前年度に引き続き、鈴鹿関跡の範囲や性格を明確にするための範囲確認調査と現地地形測量を実施した。また、正法寺山荘跡の現地地形測量を実施した。このほか、市内の遺跡について試掘調査を実施した。

i) 鈴鹿関跡

鈴鹿関跡の西城壁築地から続く築地痕跡の位置を特定するため、城山西麓において発掘調査を実施した。拳大～人頭大石とともに布目痕跡のある大量の瓦が出土。築地基底部の可能性を示唆するものであり、遺物は城山斜面からの二次堆積による出土状況が窺われた。城山西南麓での追加調査では、瓦の集積状況が確認されたことから、この延伸が城山南西麓に取り付き、山上へと続く可能性が高まった。また鈴鹿関跡の国史跡指定のデータ収集を目的として、平成18年度から同遺跡西城築地周辺の現地地形測量を実施しており、9,000 m²の測量を行った。

ii) 正法寺山荘跡現地地形測量

近年の縄張り調査で史跡指定範囲外に遺構が存在することが確認されており、将来的に国史跡指定範囲を拡張することを目的に、4,200 m²の現地地形測量を実施した。

iii) 市内遺跡範囲確認調査

市内に存在する遺跡について、開発行為に円滑に対処するため、確認調査を実施した。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
鈴鹿関跡	亀山市関町新所	個人住宅建設	78.75	遺構あり・遺物なし
長者屋敷遺跡 (伊勢国府跡)	亀山市能褒野町	個人住宅建設	200.00	遺構あり・遺物あり
計			278.75	

④ 市内遺跡(津市)

事業者 津市

事業費 4,500千円 [国50% 2,250千円・県11% 495千円]

事業概要 多気北畠氏遺跡の上多気六田地区の史跡指定に向けた発掘調査報告を刊行した。
また、市内の遺跡について確認調査を実施した。このほか、前年度に引き続いて
出土遺物保存処理を行った。

i) 多気北畠氏遺跡発掘調査

今年度は多気北畠氏遺跡の上多気六田地区の史跡指定に向けて、平成18～23年に実施した発
掘調査成果の総括として、『多気北畠氏遺跡第35次発掘調査報告』を刊行した。

指導委員 稲本 紀昭 (元京都女子大学教授)
金田 章裕 (大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長)
服部 英雄 (九州大学大学院教授)
藤澤 良祐 (愛知学院大学教授)
増渕 徹 (京都橘大学教授)
山中 章 (三重大学特任教授)
渡辺 寛 (皇學館大学名誉教授)

指導委員会 平成24年8月7日、11月19日

ii) 市内遺跡範囲確認調査

市内に存在する遺跡について、確認調査を行った。また、『平成24年度市内遺跡試掘・確認
調査報告』を作成した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
久居城下町遺跡	津市久居東鷹跡町	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
中起遺跡	津市河芸町一色	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
南稲場遺跡	津市河芸町上野	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
片野遺跡	津市一志町片野	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
一身田寺内町遺跡	津市一身田町	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
川口北方遺跡	津市白山町川口	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
高樋遺跡	津市安濃町草生	個人住宅建設	16	遺構なし・遺物なし
計			112	

iii) 出土遺物保存処理

薬師谷古墳群、中野山古墳群出土の金属製品と玉類のうち、劣化が進みつつあるものについ
て保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。平成24年度は鍬、刀子、棗玉など30点の保存
処理を行った。

⑤ 市内遺跡 (松阪市)

事業者 松阪市

事業費 3,300千円 [国50% 1,650千円・県11% 363千円]

事業概要 市内の重要遺跡の確認調査を実施し、埋蔵文化財保護の基礎データを得た。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	面積 m ²	調 査 概 要
中林・中道遺跡	松阪市中林町字宮ノ西	宅地造成	16.00	遺構不明・土師器
天神遺跡	松阪市鎌田町字天神	宅地造成	24.00	遺構なし・土師器

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
一色垣内遺跡	松阪市嬉野中川町字一色垣内	個人住宅建設	20.12	土坑、性格不明遺構・土師器
川井町遺跡	松阪市川井町字粥鍋、同西町字西堀之坪	宅地造成	20.50	土坑・弥生土器
北渡り遺跡	松阪市古井町字北渡り	砂利採取	16.00	遺構なし・土師器、陶器
野田遺跡	松阪市嬉野野田町字小杉	宅地造成	32.00	遺構なし・中世土師器
新田町遺跡	松阪市大黒田町字新田	宅地造成	24.00	溝、流路・土師器
野田遺跡	松阪市嬉野野田町字小杉	宅地造成	12.00	遺構なし・土師器、中世須恵器
中世古遺跡	松阪市田原町字浦畑	宅地造成	1,713.00	竪穴住居、環濠、溝、土坑・弥生土器、中世土器
中世古遺跡	松阪市田原町字浦畑	宅地造成	82.00	遺構なし・土師器
小野江・甚目遺跡、小野江甚目古墳群	松阪市小野江町大字大垣内	学校建設	10.00	遺構なし(旧河道)・土師器、陶磁器
荒野遺跡	松阪市嬉野須賀町字沢	店舗建設	24.00	遺構なし・弥生土器、中世土器
西野田遺跡	松阪市嬉野中川町字東野田	個人住宅建設	2.24	遺構なし・遺物なし
井之尻長井遺跡	松阪市久米町字長井	店舗建設	18.75	遺構なし・遺物なし
立野古墳群	松阪市立野町地内	その他	64.40	遺構なし・須恵器
松坂城跡	松阪市殿町	その他	4.10	遺構なし・瓦
計			2,083.11	

⑥ 史 町内遺跡 (明和町)

事業者 明和町

事業費 2,000千円 [国50% 1,000千円・県11% 220千円]

事業概要 遺跡地内における個人住宅の申請に対応し、事前に遺跡の規模、内容等について発掘調査を実施する。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
史跡齋宮跡 第178-1次調査	明和町齋宮字出在家	個人住宅建設	34.3	溝、ピット・土師器、須恵器
史跡齋宮跡 第178-3次調査	明和町齋宮字牛葉	個人住宅建設	3.3	遺構なし・遺物なし
史跡齋宮跡 第178-5次調査	明和町齋宮字牛葉	個人住宅建設	16.3	溝、土坑、ピット（掘立柱建物）・土師器、陶器
史跡齋宮跡 第178-6次調査	明和町齋宮字中西	集合住宅建設	28.7	溝、土坑・陶器、磁器
史跡齋宮跡 第178-7次調査	明和町竹川字中垣内	個人住宅建設	3.0	遺構なし・遺物なし
史跡齋宮跡 第178-8次調査	明和町齋宮字広頭	個人住宅建設	5.1	遺構なし・遺物なし
西浦遺跡	明和町行部字西浦	個人住宅建設	64.0	遺構なし・土師器
梅香院法性寺跡	明和町齋宮字北野	個人住宅建設	162.0	溝、土坑、ピット・土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、青磁、瓦器、瓦
梅香院法性寺跡	明和町齋宮字北野	個人住宅建設	529.3	掘立柱建物、土坑、井戸・土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、白磁、瓦器、瓦など
鳥墓遺跡	明和町蓑村字鳥墓	個人住宅建設	32.0	土坑、ピット・土師器
鳥墓遺跡	明和町蓑村字鳥墓	個人住宅建設	263.0	溝、土坑、焼成坑、粘土貯蔵穴、井戸、ピット遺構・土師器
計			1,141.0	

⑦ 市内遺跡（鳥羽市）

事業者 鳥羽市

事業費 17,102千円〔国50% 8,551千円・県11% 1,881千円〕

事業概要 県史跡鳥羽城跡の遺構の残存状況を確認するため、範囲確認調査を行った。また、将来的には石垣の修理等も計画していく必要があることから、基礎的なデータを得るために石垣の測量調査を行った。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
鳥羽城跡（第7次）	鳥羽市鳥羽	確認調査	336	溝、土坑・瓦

⑧ 市内遺跡（志摩市）

事業者 志摩市

事業費 5,263千円〔国50% 2,631千円・県11% 578千円〕

事業概要 市内の遺跡について、開発と調整を円滑に対処するための確認調査を実施した。前年度に引き続き、おじょか古墳出土金属製品について保存処理を実施した。今年度は直刀、鏃、鏃、金銅製品など、合計25点を行った。

遺跡名	所在地	原因	面積 m ²	調査概要
松本遺跡	志摩市阿児町	確認調査	32.0	遺構なし・遺物なし
志島古墳群 (4号墳)	志摩市阿児町	確認調査	42.5	古墳墳丘、周溝、溝、土坑、ピット・土師器、須恵器、陶器、砥石、不明鉄器
計			74.5	

(15) 天然記念物食害対策事業

特天 カモシカ [S9.5.1指定 (地域を定めず)]

事業者 大台町・紀北町・尾鷲市

事業費 41,017千円 [国2/3 27,344千円・県11% 3,297千円]

事業概要 カモシカ保護地域が設定されている市町での食害対策用保護柵の設置。

市町名	事業費 千円	箇所数	面積 ha	柵総延長 m	受託者
大台町	30,178	6	13.75	6,050	宮川森林組合
紀北町	5,604	3	5.11	2,496	森林組合おわせ
尾鷲市	5,235	6	3.20	2,460	森林組合おわせ
計	41,017	15	22.06	11,006	

(16) 天然記念物緊急調査事業

天 ネコギギ [S52.7.2指定 (地域を定めず)]

事業者 亀山市

事業費 2,000千円 [国50% 1,000千円・県7% 140千円]

事業概要 絶滅が危惧される鈴鹿川水系のネコギギ個体群の生息状況把握を行い、保護のための計画を立案し実施する。平成24年度は鈴鹿川水系のネコギギを現状把握するため、生息状況調査と生息環境調査を行った。

指導委員 名越 誠 (三重県文化財保護審議会委員・奈良女子大学名誉教授)

原田 泰志 (三重大学教授)

渡辺 勝敏 (京都大学大学院准教授)

川北要始補 (亀山市文化財保護審議会委員)

指導委員会 平成24年9月18日

(17) 天然記念物再生事業

① 天 ネコギギ [S52.7.2指定 (地域を定めず)]

事業者 いなべ市

事業費 2,174千円 [国50% 1,087千円・県7% 203千円]

事業概要 絶滅の危機に瀕している員弁川水系のネコギギ個体群の再生を図るため、同水系に残存しているネコギギの生息状況調査ならびに保護増殖を行う。平成24年度は野外に残存しているネコギギの継続調査および周辺の生息環境調査、志摩マリランドでの保護増殖、鳥羽水族館での危険分散目的の飼育を行った。

指導委員 森 誠一 (岐阜経済大学教授)
渡辺 勝敏 (京都大学大学院准教授)
原田 泰志 (三重大学教授)
田代 喬 (名古屋大学大学院准教授)
佐川 志朗 (兵庫県立大学自然・環境科学研究所准教授)
里中 知之 (志摩マリンランド館長)

指導委員会 平成24年6月4日、7月19日

② 天 御池沼沢植物群落〔S27.10.11指定〕

事業者 四日市市
事業費 4,400千円〔国50% 2,200千円・県7% 308千円〕
事業概要 平成23年度から平成25年度にかけて、天然記念物 御池沼沢植物群落の再生を行う。事業は、市文化財保護審議会天然記念物部会を指導委員会として位置づけ、助言・指導を受けながら実施する。植生調査、植生再生対策を主軸とするが、市単事業で管理人材育成、普及啓発事業も行った。

指導委員 石田 昇三 (学識経験者)
武田 明正 (三重大学名誉教授)
桐生 定巳 (学識経験者)
加田 勝敏 (学識経験者)

指導委員会 平成24年12月10日

2 県費単独補助事業

(1) 建造物保存修理事業

専修寺唐門、御廟拝堂及び唐門〔S35.5.17指定〕

事業者 宗教法人専修寺
事業費 総事業費 234,730千円 (平成20～24年度)
平成24年度 1,023千円〔県1/3 341千円〕
事業概要 専修寺唐門及び御廟唐門の檜皮屋根が経年により摩滅し、雨漏りが生じており、御廟拝堂についても経年により本瓦屋根の谷部から雨漏りが生じ、木部に腐朽が見られるため、3棟とも屋根全面葺替え並びに破損部分の修理を行った。平成24年度は最終年度で、報告書作成を行った。

委託業者 有限会社 真陽社

(2) 民俗文化財伝承・活用等事業

一之瀬獅子神楽〔S58.3.28指定〕

事業者 市場獅子神楽保存会・和井野獅子神楽保存会
事業費 市場 189千円〔県1/2 94千円〕、和井野 410千円〔県1/2 205千円〕
事業概要 市場では、太鼓の修理を行った。また、和井野では、神役衣装(袴・舞衣)の新調を行った。

(3) 天然記念物再生事業

地藏大マツ〔H8.3.7指定〕

事業者 鈴鹿市西玉垣町自治会
事業費 631千円〔県1/2 315千円〕

事業概要 樹勢回復のための土壌改良と、マツノザイセンチュウの虫害対策として防除薬剤を樹幹注入し、樹勢回復を図った。

(4) 天然記念物環境整備事業

篠立の風穴〔S52. 3. 28指定〕

事業者 立田地区委員会

事業費 157千円〔県1/2 78千円〕

事業概要 平成24年9月の豪雨により被災した、篠立の風穴管理のための手摺の復旧。

3 活かそう守ろうみえの文化財事業

(1) 事業概要

【事業の趣旨・目的】

みえの貴重な地域資源である文化財について、所有者（管理者）等からの活用計画や市町による文化財を活かしたまちづくりマスタープランの策定計画を受け、当該文化財の修復整備と公開活用を進める。

また、文化財の活用取組を促進することにより、ひとづくりやまちづくりへとつなげる。

さらに文化財の活用取組を通じて、所有者や地域住民の文化財に対する愛着と誇りを育むことにより、文化財を守ろうとする意識を向上させる。

i) 事業費（活用事業、保存事業）

626,008千円（県費支出額71,232千円：活用事業829千円、保存事業70,383千円）

ii) 対象

国・県指定等文化財の所有者（管理者）など

iii) 内容

- ・魅力ある活用事業を計画的に進めようとする国・県指定等文化財について、所有者等による文化財の修復等保存事業と、公開等活用事業に対して補助を行う。
- ・学校や地域等との連携、周辺文化財とあわせた取組など、魅力ある活用事業を促進する。
- ・文化財の魅力を県民にさらに伝えるとともに、活用取組についても情報発信を充実させる。

iv) 実施方法

- ・国・県指定等文化財の所有者（管理者）等は、当該文化財の保存と活用について事業計画を作成し提出する。
- ・提出された計画のうち、当該文化財の本質に合った魅力ある活用であり、文化財の価値を県民に伝え、人づくりやまちづくりへとつながるものについて採択をする。
- ・採択した計画にかかる保存事業（修復等）に補助をするとともに、活用事業についても補助を行う。

(2) 事業実績

① 事業件数

提案件数	採択件数	提案者数	マスタープラン	活用事業者数	保存事業者数
18	18	11 (10市1町)	0	16	15

② 活用事業一覧

〔千円〕

事業者	事業名	事業額	県補助額	内容
公益財団法人 諸戸財団	重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理	61	30	修理中の建造物などの見学会と、 瓦・木材の拓本取りの体験を合 せて実施した。
公益財団法人 諸戸財団	名 諸戸氏庭園 史跡等・登録 記念物・歴史の道保存整備	25	12	庭園内の藤茶屋で呈茶会を開 催した。
桑名歴史案内 人の会	名 旧諸戸氏庭園 史跡等・登 録記念物・歴史の道保存整備	50	25	諸戸家に関する歴史的建造物 を見学するウォーキングイベン トを開催した。 アルバム「六華苑 四季の花」を 作成し、来園者の閲覧に供した。
十社小学校親 師会	天 ネコギギ 天然記念物再生	100	50	児童と保護者・教員を対象に田 切川についての観察会や学習会 を開催した。
久留倍遺跡運 営委員会	史 久留倍官衙遺跡 史跡等・ 登録記念物・歴史の道保存整備	372	186	講演会「古墳時代の久留倍遺跡」、 「壬申の乱」、「官衙のお仕事」を開 催した。 写真コンテストを開催した。
富田鯨船保存 会連合会北島 組鯨船神社丸 保存会	重無民 鳥出神社の鯨船行事 民俗文化財伝承・活用等事業	50	25	復元新調した横幕・水押サガリ に関する鯨船の講演会を開催した。
NPO東海道 関宿	重伝建 亀山市関宿伝統的建造 物群保存地区 重要伝統的建造 物群保存地区・保存修理	70	35	「関宿カルタ」ウォークラリーを 開催した。 「関宿カルタ」看板設置箇所図を 作成し、配布した。
ふるさと文化 資産保全活用 研究会	登録 白川小学校南棟及び北棟 重要文化財建造物等公開活用 (登録有形文化財)	100	50	公開講座「昔なつかしい木造校 舎 来てみて知って白川小学校」 を開催。
鈴鹿市考古博 物館サポ ート 会	史 伊勢国分寺跡 史跡等・登 録記念物・歴史の道保存整備	20	10	講演会「朝日の歴史についてー 縄生廃寺と萬古焼からー」を開 催した。 子どもを対象とした「万灯手 作り教室」を開催した。
宗教法人北島 神社	市内遺跡 発掘調査等	27	13	歴史講演会「庭園史の中の北島 氏館跡庭園」を開催した。 名勝北島氏城館庭園、北島氏館 詰城跡の見学会を開催した。
宗教法人専修 寺	専修寺唐門、御廟拝堂及び唐門 保存修理	63	31	御影堂の畳拭き体験及び紙粘土 作成の体験学習会を開催した。 一身田地区住民が参加した防災 訓練を御影堂で実施した。
財団法人国史 跡齋宮跡保存 協会	史 齋宮跡 史跡等買上げ (先行取得償還)	87	43	「いつきのみや十五夜観月会」等 において、学生にボランティアス タッフとして参加してもらう企画 を実施し、イベント運営体験を通 じて齋宮の歴史・文化を体感して もらった。

事業者	事業名	事業額	県補助額	内容
財団法人国史跡齋宮跡保存協会	史 齋宮跡 史跡等買上げ (直接買上げ)	85	42	齋宮小学校6年生の総合学習において古代食(饂飩)づくり講座を開催した。
鳥羽市	市内遺跡 発掘調査等	229	114	「九鬼氏と鳥羽城」をテーマにした講座を開催。
志島自治会	市内遺跡 発掘調査等	100	50	子ども向け学習講座、発掘現地説明会、地元住民向け学習会を開催した。 志島古墳群概要パンフレットを作成した。
児童の郷土愛育成のための文化財・観光施設等開放事業実行委員会	史 上野城跡 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備	176	88	上野城子ども文化教室の開催。伊賀市在住の小学生児童全員に「無料手形」を配布して市内20ヶ所の文化財施設に1回入場できるようにした。
府中地区住民自治協議会	史 伊賀国庁跡 史跡等買上げ (直接買上げ)	40	20	文化財講座「古代のマチ、ムラで使われた焼き物」を開催した。 文化財ウォーク「南宮山麓の文化財をめぐる一敢国神社と周辺の石造物」を開催した。 文化財講演会「東条古墳群と伊賀市の後期古墳」を開催した。
上野文化美術保存会	重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業	50	25	お雛子体験会を開催した。 ダンジリウォークを開催した。

4 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業について、市町教育委員会の推薦を受けた文化財を推薦し、次の団体が助成を受けた。

(1) 地域の伝統文化助成 (公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団)

事業者 戸木東組かんこ踊り保存会
助成額 520千円
事業概要 用具の新調

(2) 文化財修理事業助成 (財団法人 沖永文化振興財団)

事業者 牛蒡祭り保存会
助成額 300千円
事業概要 衣装の新調

IV 世界遺産の保存管理

1 世界遺産熊野古道保存管理事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16.7.7登録）の良好な保全管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った（総事業費671千円）。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。三県協議会は、会長・副会長・委員及び監事で組織されている。前年度に引き続き、会長に和歌山県知事、副会長に奈良県・三重県知事が就任した。事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれた。三重県における委員及び監事の構成は、以下のとおり。

- ・副会長 鈴木英敬（県知事）
- ・委員 真伏秀樹（三重県教育長）、河上敢二（熊野市長）、安部正美（紀北町教育長）
- ・監事 野村 浩（県教育委員会育成支援・社会教育担当次長）

② 三県協議会連絡会議の開催

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
 開催日時 平成24年10月3日（水） 14:00～15:30
 議事内容 平成23年度の事業報告・決算・監査報告、協議会設置要綱の一部改正、平成24年度事業計画・予算案、台風被害状況の共有、世界遺産の適切な活用
 事業計画 定期報告と保存管理の実施、専門委員会の運営、関係自治体担当者会議の開催、普及啓発活動（「紀伊山地の参詣道ルール」の周知）

平成23年度三県協議会決算

収入	支出	繰越金	収入のうち三重県負担額
1,991,997 円	1,922,415 円	69,582 円	220,000 円

③ 三県協議会専門委員会の開催

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）
 開催日時 平成24年12月25日（火） 13:30～16:30
 議事内容 平成23年台風12号被害の復旧状況について、行政（関係自治体）担当者会議について、参詣道における適切な活用について（三県共通）
 関係寺院・市民団体・行政との連携会議の在り方について（奈良県）
 地域住民、自治体、国、ユネスコの連携について（三重県）
 「世界遺産条約採択40周年記念国際シンポジウム in 高野山」の開催について、世界遺産追加登録に向けての取り組みについて（和歌山県）

委員 小野 健吉（奈良文化財研究所文化遺産部長、日本庭園史）
 櫻井 敏雄（大谷大学客員教授、建築・意匠）
 菅谷 文則（奈良県立橿原考古学研究所長、考古学）
 高須 英樹（和歌山大学教授、植物生態学）
 西村 幸夫（東京大学副学長、都市計画）
 速水 亨（速水林業代表、森林景観）
 増井 正哉（奈良女子大学教授、建築史・文化遺産の保存と活用）
 山陰加春夫（高野山大学名誉教授、日本中世史）

④ 第1回世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議の開催

開催地 三重県熊野庁舎、史跡熊野参詣道伊勢路（風伝峠道）

開催日 平成24年12月6日（木）・7日（金）

概要 関係行政担当者の資質向上を目的として開催した。国機関（文化庁、環境省、林野庁）、3県及び関係市町村等の職員の参加を得た。1日目は、基調講演「世界遺産の現状と課題」の他、本質的価値、関係団体の連携、維持管理と活用についてのそれぞれ3講演を行い、意見交換を行った。2日目は、風伝峠道の災害復旧状況の視察を行った。また、維持管理実地体験として、参加者全員が石畳の上に堆積した土砂の除去と清掃を行い、石畳道の復元ができた。

⑤ 「紀伊山地の参詣道ルール」の周知

適切な活用を促進するため、関係機関が管理するホームページへの掲載と、啓発用ポスターとパンフレットの作成を行う。

⑥ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出の受理

「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークは、三県協議会あて（各県教育委員会文化財主管課が事務）に使用届出書を提出することで、世界遺産関連行事や商品などに用いることができる。平成24年度に三重県が受理し、届出受領書を発行したのは4件である。

(2) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会

三県協議会と連携して熊野参詣道（伊勢路）の保存と活用に取り組むため、三重県教育長及び大紀町・紀北町・尾鷲市・熊野市・御浜町・紀宝町の教育長を委員とする「三重県世界遺産保全推進協議会」が構成されている。

また、史跡等の保護のため、本協議会の下に幹事会を設置し、文化財保護法に基づく史跡等の保護に万全を期する体制を布いている。平成24年度は幹事会を2回開催した。第1回は平成24年7月2日（月）、第2回は平成25年2月28日（水）に開催し、当該6市町教育委員会との連絡・協議に万全を期した。

② 世界遺産「保全状態の測定にかかる指標」の作成

ユネスコ世界遺産委員会は、世界遺産一覧表に登録された遺産の価値を維持するため、世界遺産条約締結国内における世界遺産の保全状態等について定期的な報告の実施を、第22回世界遺産委員会（平成10年）において採択している。これは、世界遺産条約第29条に基づき、世界遺産を保有する国が、世界遺産条約を適用するために採った立法措置、行政措置やその他の行動に関する定期報告である。文化庁より指示のあった報告様式「保全状態の測定にかかる指標」に基づき、各関係市町村教育委員会を支援し、平成24年1月～同年12月末までの集約を完了した。

③ 平成24年度世界遺産関係道府県主管課長会議

世界遺産の保存・継承を主目的に、平成11年度から構成資産を擁する道府県の共催で開催されている。

開催地 島根県大田市（石見銀山遺跡とその文化的景観）

開催日 平成24年7月25・26日

報告 文化庁文化財部記念物課 世界遺産室 草野純一専門官

協議内容 世界文化遺産保全管理法（仮称）について（島根県提案）

(3) 活用事業

セミナー「熊野古道と文化的景観」（116千円）

地域や文化的景観に精通した有識者を招聘し、改めて熊野参詣道にかかる文化的景観を多角的な視点から学び、研究、活用するヒントを得ることを目的に実施した。なお、セミナーの開催にあたっては、日本イコモス国内委員会の共催を得ると共に、県、開催市町、東紀州観光まちづく

り公社の三者主催で実施した。

- 第1回 平成24年6月10日(日)
会 場 大紀町いきいきプラザ 参加者80名
講 師 小田誠太郎(公益財団法人 和歌山県文化財センター)
演 題 「再発見!世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の価値」
- 第2回 平成24年9月30日(日)
会 場 熊野市文化交流センター ※台風接近により中止
講 師 梅嶺レイ(写真家・医師)
演 題 「集落跡と古街道から探る熊野の暮らし」

2 他部局との連携事業ほか

(1) 「吉野・熊野・高野の国」事業実行委員会

紀伊半島には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとして、豊かな歴史・文化・自然資源があり、紀伊半島の観光振興と地域活性化を図るためには、三重県、奈良県、和歌山県が広域的に連携し、これらの資源の積極的な活用に共同で取り組む必要があることから、平成22年7月に「吉野・熊野・高野の国」が建国された。事業実行委員会は、3県の観光、地域振興、文化財部局等により構成されている。

委員会においては、文化財保護の観点から、適切な活用が促進されるよう提言している。

(2) 三重大学との共同研究

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の景観保全の共同研究に参加し、資料提供を行った。

(3) 熊野古道関係担当者会議

県庁内の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に関係する、地域連携、地域振興、文化振興、まちづくり、林業、観光等の部局との間で、適切な保全と活用が促進されるよう提言している。

V 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類登録審査会

目的 銃砲刀剣類所持等取締法の定めるところにより、美術品もしくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類を審査のうえ登録する。

開催期日 5月15日 県津庁舎会議室 8月21日 県津庁舎会議室
 10月9日 県尾鷲庁舎会議室 11月13日 県津庁舎会議室
 1月22日 県津庁舎会議室

新規登録 刀剣類 251件 銃砲類 19件 登録件数累計 52,674件
 登録証再交付 刀剣類 44件 銃砲類 2件
 製作承認 刀剣類 0件(新規内数)
 所有者変更 刀剣類 515件 銃砲類 33件

登録審査委員(五十音順) 東 敏平 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)
 小川 保生 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)
 菊本 和男 (元三重県警警察官)
 早川 繁一 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部長)
 東世古晃弘 (日本美術刀剣保存協会 三重県支部理事)
 福井 款彦 (日本美術刀剣保存協会 三重県副支部長)

(2) 三重県天然記念物紀州犬登録審査会

目的 天然記念物紀州犬の保存を図り、その繁殖を促進するため、審査会を経て、保存の必要を認められた紀州犬を優良紀州犬として、県教育委員会に備える紀州犬台帳に登録する。

日時 平成24年5月27日(日)

場所 結城神社駐車場(津市)

審査員 中谷 和生(社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部長)
 岸川 徳成(社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部顧問)
 木村二三利(社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部顧問)

登録日本犬

	登録日	登録番号	犬名	性	所有者住所
1	H24.6.7	794	優 香	雌	津 市
2	H24.6.7	795	莓 花	雌	四日市市
3	H24.6.7	796	豊 山	雄	四日市市
4	H24.6.7	797	ダ イ	雄	鈴 鹿 市
5	H24.6.7	798	幸 姫	雌	鈴 鹿 市
6	H24.6.7	799	武	雄	御 浜 町
7	H24.6.7	800	綱 一	雄	伊 賀 市
8	H24.6.7	801	斉乃春雪姫	雌	明 和 町
9	H24.6.7	802	雷 桜 女	雌	伊 賀 市
10	H24.6.7	803	斉乃椿女	雌	多 気 町
11	H24.6.7	804	根来乃未樹	雌	津 市

(3) 三重県天然記念物日本鶏登録審査会

目的 天然記念物日本鶏の保存を図り、繁殖を助長するため、審査会の審査を経て、保存の必要を認めた日本鶏を優良日本鶏として、県教育委員会に備える日本鶏台帳に登録する。

日時 平成24年5月20日(日)

場所 斎宮歴史博物館南側駐車場(多気郡明和町竹川503番地)

審査員 富田 靖男(元三重県立博物館長)

西川 祥一(日本家禽会三重県支部長・天然記念物三重県五鶏保存会会長)

佐々木健二(三重県農林水産部フードイノベーション課)

西川 薫(三重県農林水産部畜産研究所中小家畜研究課)

登録日本鶏

	登録日	登録番号	鶏種	内種	性	所有者住所
1	H24.6.1	987	河内奴鶏	五色種	番	玉城町
2	H24.6.1	988	烏骨鶏	白色種	雌	玉城町
3	H24.6.1	989	小国鶏	白色種	雄	玉城町

2 文化財の管理

(1) 文化財パトロール

事業概要 県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、毎月、社会教育・文化財保護課に報告される。社会教育・文化財保護課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

保護指導委員

建造物	嶋村 明彦	大城 哲也	久安 典之	山田 幸三	松月 久和
	滝井 利彰	田崎 通雅	稲富 正充	岩本 直樹	
彫刻	福村 直昭	采畢 真澄	藤田 直信	瀧川 和也	
埋蔵文化財	松本 覚	渡辺 尚登	三枝 義久	浅尾 悟	西脇 智広
	浅生 悦生	新田 洋	西田 尚史	東 浩成	増田 安生
	村上 喜雄	縣 拓也	奥 義次	北畠 充生	寺岡 光三
	市田 進一	水口 昌也	大花 健生	山本 達也	福村 直人
天然記念物	川添 護	桐生 定巳	鈴木 伸治	西川 浩之	中 優
	高松 隆吉	清水 善吉	中野 恵子	橋本 清	中村みつ子
	松月 茂明	山野 直也	杉澤 学	山本 和彦	林 伸行
	川岸 悟	渡辺 勝敏	森川 裕之	川島 大助	加藤 雅之
熊野参詣道	吉田 金好	花尻 薫			

巡視報告 各委員による巡視活動の結果は次掲の①のとおりである。その中で特に指摘のあったものを②に示した。

① パトロール実施状況一覧

地区	市町	建造物	彫刻	絵画 文書	考古	民俗	史跡	天然 記念物	埋蔵	計
北勢	桑名市						7	3	25	35
	木曾岬町									

地区	市町	建造物	彫刻	絵画 文書	考古	民俗	史跡	天然 記念物	埋蔵	計
北勢	東員町							3		3
	いなべ市							8		10
	四日市市	2						4		4
	菰野町									
	朝日町									
	川越町									
	鈴鹿市							14	23	37
	亀山市	4						22	9	35
中勢	津市						1	8	54	63
松阪	松阪市	3					3	6	19	31
	多気町	1						2	10	13
	明和町						2	2	41	45
	大台町							12	24	36
南勢 志摩	伊勢市	11			3		5	3		22
	玉城町						1		31	32
	南伊勢町							4	26	30
	大紀町						1		18	19
	度会町							1	13	14
	鳥羽市	2					2	4	53	61
	志摩市						2	2	4	8
伊賀	伊賀市						8	22	43	73
	名張市						1	16	3	20
尾鷲	尾鷲市						3	6	9	18
	紀北町						1	3	7	11
熊野	熊野市	2					10	12	9	33
	御浜町	1					2		5	8
	紀宝町							1		1
計		26			3		49	158	426	662

② 巡視報告で指摘等があったもの

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
桑名市	松平定綱及一統之墓所	「松平定綱及一統之墓所」のうち、松平定永の墓について。すでに以前報告しているが、墓の北側にある木の根が墓の墓壇と石垣を押し上げているため、さらに崩壊の危険が進行していると思われる。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。 必要な対策を検討中。
四日市市	末広橋梁 四日市市旧港湾施設	<ul style="list-style-type: none"> 保安施設建屋の基礎木部に腐食が見られる。 「潮吹き防波堤」は雑草および樹木の繁茂が多い。 西防波堤は、「波止改築記念碑」の沈下の影響と見られる傾きが改善されておらず、防波堤自体の損傷とともに心配。 「灯台」は上部デッキ下の鉄筋が露出し、瀑裂が心配。 	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。 必要な対策を検討中。

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
四日市市	東阿倉川イヌナシ自生地	指定が自生地そのものの標本木であるのか不明である。天然記念物は2本とのことであった。その2本については、衰弱傾向にある。範囲外にも成木2本と実生15本を確認。今後は、地権者の理解を得ながら、これらも併せて保護していく必要がある。特に実生については、除草等の管理が必要と思われる。なお、隣接する山手中学校の校庭にもイヌナシ3本が植栽されているが、強い剪定を行っているため、一部は枯死寸前の状態である。また、移植によると思われるアイナシの撤去の検討や、同じく移植したと思われるイヌナシの来歴を調査しておく必要がある。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。 必要な対策を検討中。
	西阿倉川アイナシ自生地	案内板、解説板等は設置され、フェンスによって厳重に保護されている。しかしながら、アイナシは2個体のみであり、イヌナシが15個体植栽されている。2本のアイナシについても、小型個体の方は小さなラベルが付けられているだけで、天然記念物はどれなのか判断に迷う。また、小型個体の上部が常緑樹で覆われているので、改善を要する。なお、アイナシの自生地にイヌナシを植栽することは不適切であるので、撤去等を検討すべきである。さらに、小型アイナシについても、個体サイズから見て指定当時のものとは思えないので、来歴を明らかにしておく必要がある。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。 必要な対策を検討中。
菰野町	鎌ヶ岳のブナ原始林	案内板を改善する必要あり。 指定物件の位置が不明確。	町教委へ連絡済み。 町の対応：現地を確認次第、 対策を検討。
亀山市	宗英寺の公孫樹	石柵が2007年の地震以来、まだきちんと改善されていない。	市教委へ連絡済み。
	鈴鹿峠の鏡岩	案内板が壊れている。	市教委へ連絡済み。
	野登山のブナ林	倒木が登山道をふさいでいる。	市教委へ連絡し、確認中。
津市	三多気の桜	枝枯れ多数。ヤドリギや腐朽菌も発生している。	市教委へ連絡済み。 市の対応：樹木医と相談、 状況観察中。
松阪市	不動院ムカデラン群落	欠損している箇所がある。	市教委へ連絡済み。 市の対応：全体として良好な状態であるため、現状を見守る。
多気町	山ノ垣内遺跡の西方	遺跡の更に西方の茶畑でも石鏃、剥片等を発見。範囲の拡大とみるべきか？	町教委へ連絡済み。
	多気町五佐奈および西山の工業団地造成地	造成地の西部の高所で円墳状地形1ヶ所を確認した。町教委には、踏査結果を電話および口頭でも報告し、適切な対応を要請した。	町教委へ連絡済み。 対応協議済み。
	栃ヶ池湿地植物群落	本来生育していなかったアサザが数年前から群落を形成しているが、昨年は3ヶ所だったものが2ヶ所になっており、衰退の傾向にあるのかもしれない。	町教委へ連絡済み。 町の対応：保護審議員の指導を受け、調査中。
大台町	滝谷・檜原の川岸岩壁植物群	檜原の指定地は、位置を特定することができない。また、滝谷の指定地についても、解説板の設置されている位置からは、樹木に視界を遮られて対岸の岩壁を観察することができない。	町教委へ連絡済み。
伊勢市	金剛證寺本堂・厨子	管理が行き届いているが、厨子への入り口の扉が開けにくい。高欄の架木、平桁、地覆の腐朽が目立つ。	市教委へ連絡済み。 市の対応：対応を検討中。
	旧賓日館	下屋の瓦の乱れは今のうちに直しておくとうい。	市教委へ連絡済み。 市の対応：修繕計画の中で対応を検討する。

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
伊 勢 市	木簡 (柚井遺跡出土第2号)	木簡の乾燥が著しい。	市教委へ連絡済み。 市の対応：木簡の状態を確認。所有者には定期的な確認と、必要に応じて専門家への相談を依頼。
	松下社の大クス	説明板が倒れかかっている。 枯れ枝が増えてきている。	市へ連絡済み。 市の対応：新しい立札を25年度に新設する予定。枯れ枝は、樹木医に相談する予定。
鳥 羽 市	相島散布地	西岸砂地にて灰釉陶器の散布を確認した。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認予定。
	丸山庫蔵寺のイスノキ樹叢	イスノキの生育は確認できたが、風倒木が多く見られ、指定地内のイスノキの最大個体も消滅したと思われるので、早急に毎木調査を実施する必要がある。	市教委へ連絡済み。 市の対応：平成18年12月3日の調査で、9本を確認。大木が1本倒木したことで、8本残存。
志 摩 市	宇気比神社樹叢	椿が2ヶ所枯れていた。おそらく虫によるものと思われる。以前より枯れていた道路脇の木が倒れる心配があり、倒れると危険と思われる。	市教委へ連絡済み。 市の対応：枯れていたツバキを平成25年5月に確認、1本は新葉および花確認。1本は特定できなかった。
度 会 町	一之瀬城跡	神社修築による土取りあり。	町教委へ連絡済み。 町の対応：現地協議済み。
南伊勢町	宿浦地内遺跡 田曾浦遠見番所 花岡城跡	どこまで遺跡が広がっているかわからない。旧南勢町の詳細な遺跡分布地図が欲しい。	町教委へ連絡済み。
伊 賀 市	曾我氏館跡	新たな中世城館跡を確認した。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認、県埋蔵文化財センターと情報を共有のうえ、遺跡発見・範囲変更等の手続きを進める予定。
	波敷野古墳群	波敷野古墳群の略東の稜線南側斜面に、50mほど離れて石列を伴う2基の古墳が見られた(旧上野市地内?)	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認、県埋蔵文化財センターと情報を共有、遺跡発見・範囲変更等の手続きを進める。
	城之越遺跡	3ヶ所の井泉から湧き出る大溝の水藻は除去したらどうか。柱状石が倒れている。	市教委へ連絡済み。 市の対応：対応検討中。柱状石は修正。水藻等は除去する。
	伊賀国分寺跡	北東隅に車タイヤ、鉄くず撤去願う。講堂跡の古い看板は撤去か?	市教委へ連絡済み。 市の対応：今後対応予定。
	旧崇広堂	裏手蔵の向って右の土塀壁2ヶ所剥落。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。
	上野城跡	高石垣の北面西隅角の石垣迫り出し。筒井期天守閣入口に不要物(物入れ、トイレ)。城会館から城広場階段上段に向かって左側に礎石発見。約3分の1ほど。	市教委へ連絡済み。 市の対応：担当部署に対応依頼済み。
	廃補陀落寺町石	町石は異常なし。補陀落寺跡は新坊跡の西側崖が崩落。高さ5m×7m。	市教委へ連絡済み。 市の対応：今後現地確認予定。
	楯岡城跡	浄林寺の背後東側の尾根に城郭遺構が続いていると思われ、堀切や土塁の存在が見受けられる。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認後、県埋蔵文化財センターと情報を共有し、遺跡発見・範囲変更等の手続きを進める。

市町名	文化財の名称	指 摘 事 項	市町への連絡内容等
伊賀市	小竹氏城跡	獣害防止柵が張り巡らされている。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地確認済み。 掘削・削平等見られず。獣害防止柵設置に係る93条の取扱いについて、統一的な方針必要。
	音羽城跡	停止指示の位置から工事がかなり進んでいる。	市教委へ連絡済み。 市の対応：地元協議会と協議。現状保存で了解。地元住民への説明を実施予定。
名張市	松倉豊後守城	遺構の拡大を確認した。	市教委へ連絡済み。 市の対応：該当地及び周辺は緑地として保存されている。
紀北町	大白遺跡	旧地形はかなり改変を受けた状態にあると思われる。	町教委へ連絡済み。
	船越遺跡	現県道及び個人住宅が建っているあたりは盛土等の整備がされており、かなり現状変更を受けていると思われる。	町教委へ連絡済み。
熊野市	澗八丁	階段が一部埋没。橋が破損（通行は可能）	和歌山県へ連絡済み。 「澗大橋」の破損箇所は整備予定を把握できていない。
	オオダイガハラサンショウウオ	熊野市紀和町楊子川林道の工事現場でモニタリング調査実施。災害は林道にも及んでおり、災害復旧工事が行われていた。その内1ヶ所、過去に本種幼生の保護調査を実施した谷筋の現場では、水を迂回させるために上流からパイプで引水して側溝に流し、その水は道路下の山地斜面（水はない）に排水されていた。一昨年の調査では、林道下のコンクリート升の中でも幼生が多数確認できたが、今回は全く生息が認められなかった。その上流がせき止められたことにより、上流から流下してきた個体は全て山地斜面に排出され、死滅したものである。関係機関担当が現地で善後策を検討する必要あり。 林道工事により幼生の生息地が消滅していることを周知し、対応協議必要。	市教委へ連絡済み。 市の対応：現地で検討会実施済み。
	楯ヶ崎	手すりが壊れている。	市教委へ連絡済み。 市の対応：熊野市観光スポーツ交流課と協議進行中。

(2) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議・三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地 区	開 催 日 時	場 所
北勢・中勢・伊賀	平成24年5月24日(木) 13:30～16:30	県四日市庁舎
尾鷲・熊野	平成24年5月30日(水) 13:30～16:30	県尾鷲庁舎
松阪・南勢志摩	平成24年5月31日(木) 13:30～16:30	県松阪庁舎

内 容 平成24年度文化財保護事業の概要
指定文化財に関する事務手続き等について

文化財パトロールの実施について

出席者 市町教育委員会文化財保護行政担当者・三重県文化財保護指導委員

② オオサンショウウオ保護連絡会議

目的 オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有する。

日時 平成25年2月15日(金) 13:30~16:30

場所 名張市役所3階会議室

講演 「岐阜県における多自然川づくりの取り組み ~自然の水辺復活プロジェクト~」
岐阜県県土整備部河川課 企画環境係 角藤 祐紀

報告事項 ○オオサンショウウオ保全対策について

災害復旧工事について 三重県伊賀建設事務所(山本)

伊賀市における工事 伊賀市建設二課・産業振興部農村整備課
(代理:石井)

オオサンショウウオの遡上する様子・簡易型人工巢穴の利用状況

独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所(山本)

オオサンショウウオの保護対策 奈良県宇陀土木事務所(木田)

助言者 松井 正文(京都大学教授)

富田 靖男(元 三重県立博物館長)

佐藤 孝則(天理大学おやさと研究所教授)

松月 茂明(元日本サンショウウオセンター学芸員)

清水 善吉(自然誌の会事務局)

③ ネコギギ保護連絡会議

目的 ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行う

日時 平成25年3月1日(金) 13:30~16:45

場所 三重県津庁舎6階 大会議室

講演 「魚の病気について」

独立行政法人水産総合研究センター増養殖研究所 主任研究員 釜石 隆

事例報告 員弁川水系における災害復旧工事について 三重県桑名建設事務所(大川)

加太川護岸工事に伴う生息状況調査および保護調査について

三重県鈴鹿建設事務所(富永)

災害復旧工事および河床掘削工事について 三重県松阪建設事務所(高波瀬)

宮川水系他における災害復旧工事について 三重県伊勢建設事務所(上田)

いなべ市ネコギギ再生事業について いなべ市教育委員会生涯学習課(後藤)

亀山市ネコギギ緊急調査事業について 亀山市まちなみ・文化財室(嶋村)

平成24年度ネコギギ生息状況調査報告

三重県教育委員会社会教育・文化財保護課(藤原)

助言者 渡辺 勝敏(京都大学准教授)

佐川 志朗(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)

④ オオダイガハラサンショウウオ学習会

目的 三重森林管理署、三重県環境森林部、三重県及び奈良県、和歌山県教育委員会で協働して、オオダイガハラサンショウウオの学習会を開催することで、本種の保護について関係者の理解を深める。

日 時 平成24年7月19日（木）12:30～16:30
 場 所 大杉谷国有林
 内 容 オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。

(3) 発掘調査届・通知等

文化財保護法の規定により、埋蔵文化財包蔵地の発掘（土木工事等）に対しては、通知・届出をおこなうことが義務づけられている。平成24年4月から平成25年3月までに処理をおこなった当該通知・届出の件数は以下のとおりである。

	92条		93条										94条										99条	合計					
	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	学校	道路	その他開発	計	鉄道	道路	河川	港湾・ダム	学校	その他建物	公園造成	ガス・電気・水道等			農業関係	その他開発	保存目的	計	
桑名市	5	31		3	2	1	3		2				47		1						1	1		5	8	12	67		
木曾岬町													0													0	0		
東員町	1		1										2													0	2		
いなべ市	2	11		1		2						1	17							1				1	2		19		
四日市市	8	22		1		1	7		21			7	67		3							2			5	3	75		
菰野町	2	1	1		1				1				6													0	6		
朝日町													0											1	1		1		
川越町													0													0	0		
鈴鹿市	10	71		2		16	3		21			9	132		7						3	3	2	15	13	160			
亀山市	2	58	1		1	8	1		13				84											1	1	1	86		
津市	4	20		4		16	10		73	1	6	7	141		12						10	10	2	3	37	2	180		
松阪市		117		5		14	14		38				188							3	3	2			8	1	197		
多気町													0													0	0		
明和町		6		1			1					4	12													0	8	20	
大台町													0													0	0		
伊勢市		9				1						3	13													0	13		
玉城町	1	3									1		5													0	5		
度会町										2		1	3													0	3		
大紀町		1											1									1				1	2		
南伊勢町													0													0	0		
鳥羽市													0						1	2						3	3		
志摩市		3				1			9				13		2				1	1	1	1	1	1	6	1	20		
伊賀市	1					2	5					4	12								1			4	5		17		
名張市													0													0	0		
尾鷲市													0													0	0		
紀北町													0													0	0		
熊野市													0													0	0		
御浜町													0													0	0		
紀宝町		1				1							2		1										1	1	4		
三重県													0		13				12	10			5	14	54	20	74		
国・大学	2												0		1									1	2		4		
計	2	36	354	3	17	4	63	44	0	178	3	6	1	36	745	0	40	0	0	17	32	1	19	7	33	0	149	62	958

(4) 埋蔵文化財の発見 (法第100条関係)

	物件名	箱数等	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
1	土師器・陶器・鉄滓等	1	伊勢市有滝町	茶臼塚遺跡	三重県	伊勢市長	三重県埋蔵文化財センター	H24. 3.26	H24. 4. 2
2	土師器等	1	多気郡明和町齋宮字中西	史跡齋宮跡 (第174-10次調査)	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H24. 3.30	H24. 4.13
3	土師器・須恵器・陶器等	1	多気郡明和町齋宮字古里	史跡齋宮跡 (第174-3次調査)	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H24. 3.30	H24. 4.13
4	土師器・陶器・瓦等	2	多気郡明和町齋宮字箱川	史跡齋宮跡 (第174-2次調査)	三重県	近畿日本鉄道株式会社	齋宮歴史博物館	H24. 3.30	H24. 4.13
5	土師器・陶器等	1	多気郡明和町竹川字中垣内	史跡齋宮跡 (第174-12次調査)	三重県	個人	齋宮歴史博物館	H24. 3.30	H24. 4.13
6	土師器・陶器・銭貨等	1	多気郡明和町齋宮字牛場	史跡齋宮跡 (第174-4次調査)	三重県	竹神社	齋宮歴史博物館	H24. 3.30	H24. 4.13
7	須恵器杯・蓋・円筒埴輪・陶器碗・磁器皿等	47	伊賀市上野農人町	上野城下町遺跡 (第5次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H24. 7.24	H24. 7.30
8	中世土器・近世土器等	3	伊勢市宮後	高河原遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H24. 8. 2	H24. 8. 6
9	須恵器等	1	津市神戸地内	にんごう5号墳	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	H24. 7.31	H24. 8. 3
10	古式土師器・埴輪・山茶碗等	10	三重郡菟野町大字大強原	飛塚古墳	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H24. 9. 5	H24. 9.10
11	縄文土器・土師器・陶器・鉄製品・石器等	53	度会郡大紀町野添	野添大辻遺跡 (第1次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H24.10. 1	H24.10. 5
12	土師器・須恵器・陶器等	30	多気郡明和町齋宮字西加座	史跡齋宮跡 (第176次調査)	三重県	明和町	齋宮歴史博物館	H24.10.11	H24.10.16
13	瓦器・土師器・陶器・鉄製品等	21	名張市上長瀬	上長瀬遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H24.10.17	H24.10.18
14	土師器・灰釉陶器・山茶碗	1	松阪市朝田町	大角遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H24.11.12	H24.11.14
15	土師器・須恵器・山茶碗等	8	鈴鹿市越知町、御園町	森ヶ坪遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H24.11.21	H24.11.26
16	土師器・須恵器等	2	鈴鹿市越知町	東谷遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H24.11.21	H24.11.26
17	土師器等	1	度会郡玉城町中楽	田丸道遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	H24.12.17	H24.12.18
18	土師器・陶器等	4	伊勢市円座町	円座近世墓群	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1. 7	H25. 1. 9
19	土師器・陶器等	5	志摩市大王町波切	鰯浦間近世墓	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1. 7	H25. 1. 9
20	土師器・陶器等	3	津市美杉町竹原	瀬木遺跡 (第3次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1. 7	H25. 1. 9
21	山茶碗・土師器・縄文土器等	19	鈴鹿市小岐須町	釜垣内遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H24.12.28	H25. 1. 9
22	石器・縄文土器・土師器・須恵器・土製品・鉄製品等	21	四日市市北山町字中野山	中野山遺跡 (第7次)	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1. 9	H25. 1.18
23	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・石器等	155	四日市市北山町	北山城跡 (第2次)	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1. 9	H25. 1.18
24	土師器・陶器・瓦等	3	伊賀市上野丸之内	上野城跡	三重県	伊賀市長	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.10	H25. 1.18
25	土師器・陶器等	5	伊勢市楠部町字下村	弘正寺跡・大土御祖神社横	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.10	H25. 1.18
26	石塔	2基	伊勢市宇治浦田町字檜尾	建国寺跡	三重県	神宮	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.10	H25. 1.18
27	土師器・陶器・青磁	1	松阪市立田町	朝見遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.21	H25. 1.25
28	土師器	1	名張市上長瀬	上長瀬遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.21	H25. 1.25
29	鉄刀・鉄鎌・刀子・四獣鏡・銅釧・勾玉・丸玉等の玉類・須恵器・土師器等	9	伊賀市東条字屋敷ノ下	東条1号墳	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.24	H25. 1.25
30	緑釉陶器・灰釉陶器・土師器等	57	松阪市櫛田町	大蓮寺遺跡 (第2次)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.31	H25. 2. 4

	物件名	箱数等	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	通知日
31	弥生土器	13	多気郡多気町笠木	東ノ谷遺跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	H25. 1.31	H25. 2. 4
32	縄文土器・土師器・石器等	4	度会郡大紀町野添	野添大辻遺跡(第1次立会)	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2. 6	H25. 2.12
33	土師器・陶器・貝殻等	2	志摩市浜島町南張	南張貝塚	三重県	志摩市長	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.12	H25. 2.15
34	瀬戸美濃焼・常滑焼等	9	鈴鹿市小社町	小社遺跡	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.13	H25. 2.18
35	石器・縄文土器・土師器・須恵器等	13	四日市市北山町字中野山	中野山遺跡(第9次)	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.14	H25. 2.20
36	土師器・須恵器・鉄器等	23	四日市市北山町	北山A遺跡(第3次)	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.18	H25. 2.22
37	土師器・須恵器・鉄器等	19	四日市市北山町	中野山遺跡(第8次)	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.18	H25. 2.22
38	縄文土器・土師器・須恵器・鉄製品・石器等	18	四日市市小牧町内	筆ヶ崎古墳群、筆ヶ崎西遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.20	H25. 2.22
39	土師器・須恵器・耳環・鉄製品等	135	四日市市小牧町字筆ヶ崎	筆ヶ崎古墳群	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.20	H25. 2.25
40	須恵器・埴輪・鉄製品等	14	津市大字神戸地内	にんごう古墳群	三重県	個人・国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H25. 2.26	H25. 2.27
41	弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・木製品等	189	松阪市朝田町	堀町遺跡(第5次)	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H25. 3. 4	H25. 3.11
42	須恵器・土師器	20	桑名市大字志知	北山C遺跡(第2次)	三重県	中日本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H25. 3.11	H25. 3.13
43	陶磁器・瓦・貝殻等	2	桑名市住吉町	桑名城下町遺跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H25. 3.19	H25. 3.22
44	土師器・須恵器・陶器等	25	多気郡明和町大字斎宮字下園	史跡斎宮跡(第177次調査)	三重県	明和町	斎宮歴史博物館	H25. 3.21	H25. 3.26

(5) 埋蔵物の文化財認定(法第102条関係)

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
1	土師器、陶磁器、瓦、鉄製品、木製品	4	津市西丸之内、丸之内	津城跡(H23-3次)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H24. 3.28	H24. 4.12	三重県教育委員会
2	土師器、陶磁器、瓦等	50	伊賀市上野丸之内	国史跡上野城跡(19次)	伊賀市教育委員会教育長	財務省	伊賀市教育委員会	H24. 3.30	H24. 4.20	三重県教育委員会
3	土師器、須恵器	17	いなべ市大安町大井田	見上遺跡	いなべ市教育委員会教育長	いなべ市長	いなべ市教育委員会	H24. 4.24	H24. 5.15	三重県教育委員会
4	陶磁器、瓦等	1	桑名市一色町	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
5	土師器、陶磁器、瓦、石製品、木製品、種、貝等	4	桑名市吉之丸	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
6	陶磁器、瓦、鉄製品、ガラス製品、木製品、種、貝等	7	桑名市紺屋町	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
7	陶磁器等	1	桑名市内堀	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
8	陶磁器、瓦、貝等	1	桑名市外堀	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
9	陶磁器、鉄製品、レンガ、貝等	1	桑名市吉之丸	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
10	須恵器、山茶碗、陶磁器、瓦、鉄製品、木製品、貝等	1	桑名市三之丸	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
11	磁器等	1	桑名市江場字江場屋敷	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
12	陶器等	1	桑名市江場字勢以口	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
13	土師器等	1	桑名市芳ヶ崎字大辻	七和廃寺	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
14	陶磁器、瓦、ガラス製品等	1	桑名市一色町	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
15	土師器、須恵器	7	いなべ市北勢町阿下喜	上惣作遺跡	いなべ市教育委員会教育長	個人	いなべ市教育委員会	H24. 4.24	H24. 5.15	三重県教育委員会
16	土師器、瓦等	1	桑名市三之丸	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
17	土師器、山茶碗、陶器等	1	桑名市多度町多度字山下	多度A遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
18	土師器等	1	桑名市大字芳ヶ崎字大辻	七和廃寺	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
19	土師器、須恵器、陶磁器、瓦等	1	桑名市大字江場字江場屋敷	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
20	陶磁器、瓦、石製品、炭等	3	桑名市三之丸	桑名城跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
21	陶磁器、瓦、鉄製品等	1	桑名市内堀	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
22	土師器、陶磁器、瓦、ガラス製品、レンガ、炭、貝等	3	桑名市新屋敷	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
23	陶磁器等	1	桑名市新屋敷	桑名城下町遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
24	須恵器、山茶碗、陶器、瓦、貝、木等	1	桑名市大字江場字正金縄	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
25	土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器等	1	桑名市多度町小山	天王平遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
26	山茶碗、陶器等	1	桑名市多度町多度字山下	多度B遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
27	陶磁器等	1	桑名市五反田地内	五反田貝戸遺跡	桑名市教育委員会教育長	桑名市	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
28	山茶碗、土師器、陶器等	1	桑名市大字江場字宮之島	勢以口遺跡	桑名市教育委員会教育長	個人	桑名市教育委員会	H24. 4.16	H24. 5.18	三重県教育委員会
29	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、灰釉陶器、陶器、石製品	6	鈴鹿市平野町字門山	門山遺跡(第3次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 5.9	H24. 5.18	三重県教育委員会
30	天目茶碗、鉄釉陶器、常滑焼	1	鈴鹿市神戸八丁目	萱町遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 5.9	H24. 5.18	三重県教育委員会
31	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁、山茶碗、陶器	1	鈴鹿市平野町字門山	門山遺跡(第2次)、門山1・2・3・4号墳	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 5.9	H24. 7.11	三重県教育委員会
32	弥生土器	1	鈴鹿市岸岡町字見当山	岸岡山Ⅲ遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 6.28	H24. 7.11	三重県教育委員会
33	縄文土器、土師器	1	津市藤方字黒木	黒木遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H24. 7.5	H24. 7.11	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
34	土師器、山茶碗、灰釉陶器、常滑焼、磁器、土錘	2	鈴鹿市南堀江一丁目	神大寺遺跡(第2次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 7. 6	H24. 7.17	三重県教育委員会
35	石器	1	鈴鹿市郡山町字西高山	西高山E遺跡	鈴鹿市長	学校法人享栄学園	鈴鹿市考古博物館	H24. 7. 6	H24. 7.17	三重県教育委員会
36	土師器、陶磁器	1	津市一身田町字中ノ町	一身田寺内町遺跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H24. 7.10	H24. 7.23	三重県教育委員会
37	土師器、陶器、瓦、木製品	2	津市西丸之内	津城跡(H24-3次)	津市教育委員会教育長	三重県	津市埋蔵文化財センター	H24. 7.27	H24. 8.10	三重県教育委員会
38	土師器	1	津市栗真町屋町	鬼が塩屋遺跡(H24-2次)	津市教育委員会教育長	国立大学法人三重大学	津市埋蔵文化財センター	H24. 8.28	H24. 9. 7	三重県教育委員会
39	土師器、須恵器、埴輪	1	鈴鹿市南若松町	南原永I遺跡、岸岡山1号竪跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H24. 9.12	H24. 9.26	三重県教育委員会
40	土師器、陶器	1	津市美杉町下多気	多気北畠氏遺跡上村地区・福寿院跡(H23-1次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H24. 9.13	H24. 9.26	三重県教育委員会
41	灰釉陶器、中世陶器	1	鈴鹿市弓削二丁目	岡太神社遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H24. 9.27	H24.10.10	三重県教育委員会
42	縄文土器、土師器、山茶碗	1	津市美杉町下之川	村遺跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H24. 9.27	H24.10.12	三重県教育委員会
43	埴輪、須恵器、山茶碗	2	鈴鹿市国分町字庄ノ山	境谷遺跡(第3次)	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H24.10. 3	H24.10.12	三重県教育委員会
44	石器、土師器、須恵器	1	志摩市阿児町志島	志島古墳群4号墳(第1次)	志摩市教育委員会教育長	志摩市	志摩市教育委員会	H24.10.23	H24.11.19	三重県教育委員会
45	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、山皿、白磁、青磁、古瀬戸、瓦、木製品	49	鈴鹿市国府町字木曾田	木曾田遺跡第2次	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H24.11.30	H24.12.14	三重県教育委員会
46	土師器、灰釉陶器、陶器、石製品	1	津市河芸町上野	中須遺跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 1.10	H25. 1.18	三重県教育委員会
47	土師器	1	津市安濃町太田	清水北浦遺跡(H24-2次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 1.17	H25. 1.29	三重県教育委員会
48	土師器	1	津市白山町八対野	中切遺跡(H24-1次)	津市教育委員会教育長	津市	津市埋蔵文化財センター	H25. 1.15	H25. 1.29	三重県教育委員会
49	灰釉陶器	1	鈴鹿市国分町字念佛山	狐塚遺跡(国分寺跡第37次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 2.15	H25. 2.26	三重県教育委員会
50	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、石器(磨石、砥石)、土製品(ミニチュア土器)、石製品(石製模造品)、鉄器	30	鈴鹿市木田町字上條	磐城山遺跡第5次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 2.20	H25. 3. 4	三重県教育委員会
51	瓦	1	鈴鹿市国分町字西谷	伊勢国分寺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H25. 2.28	H25. 3.11	三重県教育委員会
52	瓦	1	鈴鹿市国分町字堂跡	国分寺北遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H25. 2.28	H25. 3.11	三重県教育委員会
53	土師器、須恵器、土製品	10	四日市市北山町字谷尻	北山A遺跡	四日市市教育委員会教育長	個人	四日市市教育委員会	H25. 2.26	H25. 3.13	三重県教育委員会
54	土師器、須恵器、山茶碗、陶器	4	鈴鹿市平野町字花林	平野遺跡(第3次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 2.28	H25. 3.14	三重県教育委員会

	物件名	箱数	発見場所	遺跡の名称	発見者	土地所有者	保管場所	発見日	認定日	認定者
55	須恵器	1	鈴鹿市国府町字浜弓場	国府B遺跡	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 3.13	H25. 3.29	三重県教育委員会
56	丸瓦、平瓦、土師器、須恵器、灰釉陶器	10	四日市市南いかるが町	大膳寺跡	四日市市教育委員会教育長	個人	四日市市教育委員会	H25. 3.11	H25. 3.29	三重県教育委員会
57	土師器、須恵器、灰釉陶器、炭化物、耳環	6	鈴鹿市国府町字西之条	国府A遺跡(第3次)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H25. 3.25	H25. 3.29	三重県教育委員会
58	土師器片	1	津市美杉町八知字堀田口	八知市場遺跡(H24-2次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H25. 3.25	H25. 3.29	三重県教育委員会

(6) 出土文化財の譲与

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
1	H24. 3.28	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡(H23-1次)	H23. 7.29
2	H24. 5.25	鈴鹿市長	土師器、須恵器、瓦	1	鈴鹿市須賀一丁目	須賀遺跡	H23.10.20
3	H24. 5.25	鈴鹿市長	土師器、須恵器、埴輪、灰釉陶器、陶器、瓦	1	鈴鹿市弓削一丁目	平田遺跡(第24次)	H23.10.20
4	H24. 8.22	津市教育委員会教育長	土師器、陶器、金属製品、石製品、縄文土器等	16	津市美杉町下多気字六田外	多気北畠遺跡(上多気六田地区)	H23.12.26
5	H24.10. 1	鈴鹿市長	須恵器	1	鈴鹿市国分町字女松山	寺山遺跡	H24. 1. 6
6	H24.10. 1	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市国分町字庄ノ山	境谷遺跡	H24. 1. 6
7	H24.10. 1	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、陶磁器、瓦、土玉、カマド、甕の羽口、砥石	34	鈴鹿市須賀一丁目	須賀遺跡(第6次)	H24. 1. 6
8	H24.10. 1	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、陶磁器、石器	83	鈴鹿市木田町	磐城山遺跡(第4次)	H24. 1. 6
9	H24.10.12	鈴鹿市長	瓦	1	鈴鹿市広瀬町字中土居	長者屋敷遺跡(第29次)	H24. 2.16
10	H24.10.12	鈴鹿市長	土師器	1	鈴鹿市十宮四丁目	十宮古里遺跡	H24. 2.20
11	H24.10.12	鈴鹿市長	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、山茶碗、陶磁器、瓦	5	鈴鹿市国分町字東高木	国分西遺跡(国分寺跡第36次)	H24. 3. 5
12	H24.10.12	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、灰釉陶器、白磁、青磁、常滑焼、鉄釉陶器、砥石、鉄製品	17	鈴鹿市岡田町一丁目	岡天神社遺跡(第6次)	H24. 3. 7
13	H24.10.12	鈴鹿市長	土師器、須恵器、山茶碗、白磁、古瀬戸、瓦	4	鈴鹿市国府町字木曾田	木曾田遺跡(第1次)	H24. 3. 7
14	H24.11.30	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、灰釉陶器、陶器、石製品	6	鈴鹿市平野町字門山	門山遺跡(第3次)	H24. 5. 9
15	H24.11.30	鈴鹿市長	天目茶碗、鉄釉陶器、常滑焼	1	鈴鹿市神戸八丁目	萱町遺跡	H24. 5. 9
16	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、土錘	2	津市栗真町屋町	鬼が塩屋遺跡(H23-1次)	H23. 9. 5
17	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	陶器、瓦	1	津市一身田町地内	一身田寺内町遺跡(H23-1次)	H23. 9. 5
18	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市安濃町戸島721	城坂遺跡(H23-1次)	H23.11. 8
19	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	縄文土器	1	津市白山町八対野地内	高空遺跡(H23-1次)	H23.11.18
20	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市白山町川口	岩脇C遺跡(H23-1次)	H24. 1.18
21	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器、陶磁器、瓦	2	津市一身田町	専修寺境内遺跡(H23-3次)	H24. 1.13
22	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市木造町地内	井手ノ上遺跡(H23-1次)	H24. 1.13
23	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	陶磁器、瓦	1	津市西丸之内	津城跡(H23-2次)	H24. 2.23
24	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市中河原	乙部城跡(H23-1次)	H24. 2.23

	申請日	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見の日付
25	H25. 2. 1	津市教育委員会教育長	縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗	30	津市美杉町下之川	下之川富田遺跡	H24. 3.13
26	H25. 2.12	鈴鹿市長	弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁、山茶碗、陶器	1	鈴鹿市平野町字門山	門山遺跡(第2次)、門山1・2・3・4号墳	H24. 6.28
27	H25. 2.12	鈴鹿市長	弥生土器	1	鈴鹿市岸岡町字見当山	岸岡山Ⅲ遺跡	H24. 6.28
28	H25. 2.12	鈴鹿市長	土師器、山茶碗、灰釉陶器、常滑焼、磁器、土鍾	2	鈴鹿市南堀江一丁目	神大寺遺跡(第2次)	H24. 7. 6
29	H25. 2.12	鈴鹿市長	石器	1	鈴鹿市郡山町字西高山	西高山E遺跡	H24. 7. 6
30	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	5	松阪市久米町字二ツ縄手	井之尻・長井遺跡	H22. 4.23
31	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	陶器等	1	松阪市魚町	松坂城下町遺跡	H22. 4.23
32	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市殿町	松坂城跡	H22. 4.23
33	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	3	松阪市肥留町字寺門	小野江・甚目遺跡	H22. 4.23
34	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	2	松阪市川井町字小望	小望遺跡	H22. 4.23
35	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市菅生町字北浦	菅生遺跡	H22. 4.23
36	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	3	松阪市曾原町字堀ノ内	中林・中道遺跡	H22. 4.23
37	H25. 2.22	松阪市教育委員会教育長	土師器等	1	松阪市中ノ庄字天神	中ノ庄遺跡	H22. 4.23

3 国・県指定文化財の現状変更等 [平成24年4月1日から平成25年3月31日まで]

(1) 国指定文化財現状変更等

① 重要文化財現状変更

名称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	内容
旧松坂御城番長屋	苗秀社	個人	H25. 2. 28	H25. 3. 6		槇垣の撤去および復旧

② 重要文化財き損届

名称	届出者	届出日	き損日	内容
旧諸戸家住宅	桑名市長	H24. 5. 25	H24. 5. 9～5. 11の間	強風により洋館屋根のスレート板がはずれる。

③ 重要文化財無償貸付

名称	所有者	申請者	申請日	貸付期間	貸付理由
三重県縄生磨寺塔心礎納置品 一括	国	朝日町歴史博物館長	H24. 2. 17	H24. 4. 1～H25. 3. 31	朝日町歴史博物館の常設展示に展示するため

④ 重要文化財公開許可（県内施設、国許可）

名 称	所有・管理者	申請者	申請日	公開期間	公開理由
梅月時絵文台	太宰府天満宮	学校法人皇學館	H24. 3.13	H24. 4.29～ 5.26	特別展「神社名宝展－参り・祈り・奉る－」に出展
住吉大社 附住吉松葉大記	住吉神社				
木造神像 男神坐像	松尾大社				
石清水八幡宮文書	石清水八幡宮				
類聚国史	石清水八幡宮				
八坂神社文書	八坂神社				
紙本著色祇園社絵図 （隆円筆）	八坂神社				
木造舞楽面 新鳥蘇	春日神社				
竹虎双雀方鏡	春日神社				
日本書紀（紙背和歌懷紙）	熱田神宮				
御花園天皇宸翰御消息 （永享五年十二月十二日）	熱田神宮				
木造能楽面	真清田神社				
銅鏡	多度大社				
金銅透彫金具	神宮				
皇太神宮儀式帳・等由気太 神宮儀式帳	神宮				
紙本墨画寒山拾得図 〈曾我蕭白筆〉	興聖寺	三重県立美術館	H24. 4.18	H24. 6. 2～ 7. 8	「蕭白ショック！！曾我蕭白と京の 画家たち」に出展
紙本墨画唐獅子図〈曾我蕭 白筆〉（旧本堂壁貼付）	朝田寺				
紙本著色群仙図〈曾我蕭白 筆／三十五歳の款記がある ／六曲屏風〉	文化庁				
与謝蕪村関係資料 〈寺村家伝来〉	文化庁				
木造不空羅索観音立像	大安寺	パラミタミュージ アム	H24. 7. 9	H24. 8.30～10.10	「南都大安寺と観音さま展」に出展
木造楊柳観音立像	大安寺				
木造馬頭観音立像	大安寺				
木造諸尊仏龕	寂照寺（奈良国立 博物館寄託）				
木造十一面観音立像	円満寺（和歌山県 立博物館寄託）				
木造十一面観音立像	置恩寺				
木造十一面観音立像	法音寺				
木造観音坐像	平勝寺				
木造十一面観音立像	津市瀬古区				
木造十一面観音立像	宝蔵寺				
木造聖観音立像	弥勒寺				
木造十一面観音立像	弥勒寺				
大安寺鬼瓦	個人（奈良国立博 物館寄託）				
兵庫県宮山古墳出土品 （第二主体部出土）	姫路市埋蔵文化財 センター	松阪市教育委員会 教育長	H24. 8.15	H24.10. 6～11.25	はにわ館特別展「ねむれる王たちの 至宝～出土品からみた古墳世界～」 に出展

⑤ 重要文化財公開届（公開承認施設）

名 称	所有・管理者	申請者	届出日	公開期間	公開理由
古瀬戸黄釉魚波文瓶	名古屋市博物館 (名古屋市)	斎宮歴史博物館	H24. 9. 7	H24. 7.21～ 9. 2	企画展「斎宮・温故知新2「海をえがく、表現する」」に出展
御堂関白記〈自筆本十四卷／写本十二卷〉	陽明文庫（京都市）	斎宮歴史博物館	H24.11.27	H24.10.6～11.11	特別展「曆と怪異—不安な日々の平安貴族—」に出展
春記〈自長曆二年八月十七日／至同年十月廿九日〉	国立歴史民俗博物館 (千葉県)				
愚昧記（承安二年春自筆本）	善教寺（四日市市）				
木造阿弥陀如来立像・像内納入文書	大將軍八神社 (京都市)				
木造大將軍神像					

⑥ 国指定文化財の勧告・承認出品

件 名	所有管理者	出品施設	出品区分
絹本着色聖徳太子勝鬘經講讃図	西来寺	独立行政法人国立文化財機構	出品勧告
絹本着色聖徳太子像	四天王寺	大阪市立美術館	出品承認
絹本着色藤堂高虎像 附 同夫人像 一幅		独立行政法人国立文化財機構	出品勧告
伊勢国朝熊山経ヶ峯経塚出土品の内 (銅経筒二口・銅鏡二面分 経卷十三卷)	金剛証寺	独立行政法人国立文化財機構	出品勧告
紙本墨書勸進状 附 絹本着色忍性上人像／額田部実澄像 二幅	大福田寺	独立行政法人国立文化財機構	出品承認
絹本着色釈迦八相成道図			出品勧告

⑦ 重要文化財所有者変更

名 称	旧所有者	新所有者	届出日	内 容
大覚禅師墨蹟 与栄意禅人法語	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 2	公益移行認定にかかる名称変更
虎関師鍊墨蹟 坐禅語	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 2	公益移行認定にかかる名称変更
三島平茶碗	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 10	公益移行認定にかかる名称変更
諸戸家住宅	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 10	公益移行認定にかかる名称変更

⑧ 国指定史跡及び名勝現状変更（※は県・*は市の法定受託事務による許可）

名 称	所 有 者	申 請 者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
史 旧豊宮崎文庫	伊勢市・個人	伊勢市長	H24. 2.18	H24. 4.20		修理工事
		伊勢市長	H24. 7.24	H24. 9.21	H24.10.31	発掘調査
史 離宮院跡	伊勢市・官舎神社	伊勢市長	H24. 4.19	H24. 6.15	H25. 3.15	集合住宅撤去
史 熊野参詣道	熊野市	熊野市長	H24. 3.16	H24. 4.20		風伝峠道災害復旧工事
		御浜町	三重県知事	H24. 8.10	H24. 9.21	
	H24. 9.19			H24.11.16		横垣峠道 堰堤設置
	国土交通省	三重県知事	H24. 8. 8	H24. 9.21		七里御浜海岸堤防工事
H25. 3.15			H25. 4.19		七里御浜堤防階段設置	

名 称	所 有 者	申 請 者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
名 諸戸氏庭園	財団法人諸戸会	財団法人諸戸会理事 理事長	H24. 3. 7	H24. 4. 9		【計画変更】溝渠浚渫
	公益財団法人諸戸財団	公益財団法人諸戸財団理事長	H24. 6.20	H24. 8. 1		【計画変更】溝渠浚渫
		公益財団法人諸戸財団理事長	H24.11.16	H24.12.14		庭園整備
名 二見浦	国土交通省・伊勢市ほか	三重県知事	H24. 5.21	H24. 6.15		養浜
		三重県知事	H24. 6.18	H24. 7. 6		スロープの設置
		二見浦・賓日館の 会会長	H24. 8. 3	H24. 9.21	H24.11.19	賓日館浴室棟の屋根葺替
		個人	H24.11.12	H24.12.14		旧二見館の社員寮、浄化槽および機械室の撤去
		伊勢市長	H24.12.26	H24.12.26		路面シートの設置
名 三多気の桜	個人	津市長	H24. 7.12	H24. 7.12		食害防除ネットの補強 *
			H24.12.19	H25. 1.18		
史 多気北畠氏城館跡	個人	個人	H24. 6.26	H24. 9.21	H24.12.13	住宅撤去
	宗教法人北畠神社	宗教法人北畠神社 代表役員	H24.11.14	H24.12.14	H24.12.22	灯笼設置
史 上野城跡	財務省 伊賀市	伊賀市水道事業管理 者職務代理者水道部長	H24. 8.10	H24.11.16		水道施設改修
	財務省 伊賀市	伊賀市長	H24.10.23	H24.11.16		発掘調査及び遺構表示
	財務省 伊賀市	農事組合法人 榑原の郷理事	H24.12.15	H24.12.25	H24.12.27	便施設設置 *
史 伊勢国分寺跡	鈴鹿市	鈴鹿市長	H24.10.18	H24.11.16		史跡整備
史 久留宿官衙遺跡	四日市市	四日市市教育委員 会教育長	H24.10.23	H24.11.16		史跡整備

⑨ 国指定史跡齋宮跡現状変更

申 請 内 容	件 数	備 考
個人・民間企業などによる申請	28 件	内、法定受託事務等による許可 11 件
公共機関等による地域環境整備に伴う申請	4 件	内、法定受託事務等による許可 1 件
史跡環境整備及び維持管理等に伴う申請	1 件	内、法定受託事務等による許可 0 件
計画的発掘調査のための申請	2 件	
計	35 件	内、法定受託事務等による許可 12 件

⑩ 国指定史跡及び名勝き損届

名 称	届出者	届出日	き損日	内 容
史 旧崇広堂	伊賀市長	H24. 6. 21	H24. 6. 20	書物蔵漆喰剥落
名 諸戸氏庭園	公益財団法人諸戸財団 理事長	H24. 5. 18	H24. 5. 11	倒木
名 二見浦	三重県知事	H24. 6. 18	H24. 6. 4	波浪の影響による海岸護岸の一部崩壊
	伊勢市長	H24. 7. 23	H24. 6. 20	波浪の影響による女岩の一部剥離
	三重県知事	H24. 9. 24	H24. 9. 24	堤防道路舗装下の盛土の沈下による空洞の発生
	伊勢市長	H24. 10. 9	H24. 9. 30	台風17号による大注連縄ほかのき損
名 三多気の桜	津市長	H24. 7. 27	H24. 6. 25	風雨によるサクラの倒木【E-19】
史 谷川土清旧宅	津市長	H24. 10. 1	H24. 9. 30	台風17号による漆喰剥落
史 多気北畠氏城館跡	津市長	H24. 10. 2	H24. 9. 30	台風17号による倒木
史 松坂城跡	松阪市長	H24. 11. 27	H24. 11. 20	石垣崩落

⑪ 国指定史跡及び名勝復旧届

件名	所有者	届出者	届出日	完了日	復旧内容
名 二見浦	国土交通省・伊勢市ほか	三重県知事	H23.12.22	H24.3.2	波浪の影響による参道の一部崩壊
		伊勢市長	H24.1.6	H24.3.26	波浪の影響による夫婦岩前参道、二見興玉神社裏参道の一部崩壊
		三重県知事	H24.6.5	H24.8.9	波浪の影響による海岸護岸の一部崩壊
史 熊野参詣道(八鬼山道)	尾鷲市	尾鷲市長	H24.12.25	H25.3.29	木製橋の架け替え
史 松坂城跡	財務省	松阪市長	H25.1.10		

⑫ 国指定名勝所有者変更

名称	旧所有者	新所有者	届出日	内容
名 諸戸氏庭園	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24.4.1	公益移行認定にかかる名称変更

⑬ 国指定天然記念物現状変更(※は県・*は市の法定受託事務による許可)

名称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
白子不断櫻	白子山観音寺	宗教法人観音寺代表役員	H24.3.7	H24.3.27		H23.2.28付け申請の期間延長届
大杉谷	国(国有林)	環境省近畿地方環境事務所	H24.1.6	H24.2.17	H24.9.12	吊り橋設置
		三重県知事	H24.2.6	H24.3.26		歩道整備 4箇所
		三重県知事	H24.8.24	H24.9.18	H24.12.6	不動谷ダム放流警告看板の復旧
須賀利大池及び小池	国、尾鷲市、須賀利区、個人	環境省	H24.11.27	H25.1.7		獣害柵設置
大島暖地性植物群落	紀北町	三重県自然誌の会	H24.5.17	H24.6.15		動植物調査・ドブネズミ駆除
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	田光区、個人	菟野町教育委員会教育長	H24.10.1	H24.11.2	H24.11.26	植生管理
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖	国・県・熊野市	七里御浜鯉のぼりの会	H24.3.21	H24.3.26	H24.6.12	工作物の設置 *
		熊野市長	H24.6.29	H24.6.29		花火行事のための工作物の設置 *
ネコギギ		三重県知事	H23.11.29	H24.1.20	H24.5.23	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H23.11.29	H24.1.20	H24.7.13	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		津市長	H23.11.29	H24.1.20		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H23.12.14	H24.1.20	H24.12.17	河川災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H23.12.14	H24.5.18	H25.3.19	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H23.12.26	H24.2.17	H25.2.27	工事に伴う一時捕獲・移動
		伊勢建設事務所	H24.2.1	H24.3.29		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		伊勢建設事務所	H24.2.1	H24.5.18	H25.3.29	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県企業庁長	H24.2.28	H24.4.20	H25.3.27	工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県教育委員会	H24.3.14	H24.4.20		生息状況調査(DNAサンプル採取)~H27.3.31
		三重県知事	H24.3.15	H24.4.20		奥河内川維持管理工事に伴う一時捕獲・移動
		中日本高速道路株式会社四日市工事事務所長	H24.5.24	H24.6.15	H24.10.9	生息状況調査 *
松阪市長	H24.5.25	H24.6.15	H24.9.27	イベントにおけるネコギギの展示		

名称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
ネコギギ		三重県知事	H24. 6. 6	H24. 6.15	H24. 9.26	生息状況調査 *
		国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所長	H24. 6.15	H24. 6.25	H24. 9. 3	生息状況調査 *
		三重県知事	H24. 8.27	H24. 8.27	H25. 2.18	生息状況調査 *
		三重県知事	H24. 8.29	H24.10.19		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 8.29	H24.10.19		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 8.29	H24. 8.29	H24.10.12	生息状況調査 *
		国土交通省	H24. 9. 5	H24.10.19		橋脚耐震工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.10	H24.10.19	H25. 3.18	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.10	H24.10.19	H25. 3.25	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.19	H24.10.19		災害復旧工事および河川改修工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24. 9.24	H24.10.19	H25. 3.19	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24.10. 1	H24.11.16		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24.10.15	H24.12.14		工事に伴う一時捕獲・移動
		三重県知事	H24.10.22	H24.12.14		河床掘削に伴う捕獲・移動・試料採取
		三重県知事	H24.11.30	H25. 1.18		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
		オオサンショウウオ		伊賀市長	H20. 7.16	H20. 8. 8
三重自然誌の会	H21. 8.21			H21. 9. 1	H24. 4. 1	生息状況調査 *
独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H23. 1.24			H23. 3.18	H24. 5. 8	出前事業に伴う一時移動
伊賀市長	H23. 2.22			H23. 3.18	H24. 4. 2	一時捕獲・移動
三重県知事	H23. 9.15			H23.11.18	H24. 4.13	工事に伴う一時捕獲・保護飼育・試料採取
三重県知事	H23.11.17			H24. 1.20		災害復旧工事に伴う一時捕獲・試料採取等
伊賀市長	H24. 1. 6			H24. 2.17		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事	H24. 1.13			H24. 2.17	H25. 1.22	災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動
独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H24. 3. 7			H24. 4.20		出前講座に伴う移動
三重県教育委員会	H24. 3.14			H24. 4.20		生息状況調査、DNAサンプル採取 ～H27.3.31
特定非営利活動法人赤目四十八滝渓谷保勝会	H24. 3.23			H24. 4.25		生息状況調査 *
三重自然誌の会	H24. 3.30			H24. 4.25		生息状況調査 *
三重自然誌の会	H24. 4. 2			H24. 4. 2		生息状況調査 *
三重県知事	H24. 5.22			H24. 5.28		生息状況調査 *
三重県知事	H24. 5.22			H24. 6.15		工事に伴う一時捕獲・移動および試料採取
独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H24. 6. 7			H24. 6. 8		生息状況調査 *
伊賀市長	H24. 6.21			H24. 6.25	H25. 2. 7	生息状況調査 *
伊賀市教育委員会教育長	H24. 7. 2			H24. 7. 3	H24. 8.29	生息状況調査 *
三重県知事	H24. 7. 6					工事に伴う一時捕獲・移動および試料採取
三重県知事	H24. 7.25			H24. 9.21		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
伊賀市長	H24. 6.21			H24. 9.21	H25. 2. 7	工事に伴う一時捕獲・保護飼育・試料採取
三重県知事	H24. 7. 4			H24. 9.21		工事に伴う一時捕獲・移動および試料採取
三重県知事	H24. 7.25			H24. 9.21		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
三重県知事	H24. 9. 3			H24.10.19		工事に伴う一時捕獲・移動
三重県知事	H24. 9.28			H24.11.16		河床掘削に伴う一時捕獲・移動・試料採取
三重県知事	H24.10.24			H24.12.14		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
三重県知事	H24.10.25			H24.12.14		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
三重県知事	H24.11.30			H25. 1.18		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取

名 称	所有者	申請者	申請日	許可日	完了日	変更内容
オオサンショウウオ		三重県知事	H24.12.13	H25. 1.18		災害復旧工事に伴う一時捕獲・移動・試料採取
ヤマネ		大日コンサルタント株式会社	H24. 6. 7	H24. 6.11		生息状況調査 *
オカヤドカリ		個人	H24. 3.13	H24. 4.20		生息状況調査および試料採取

⑭ 国指定天然記念物滅失・き損届

名 称	届出者	届出日	き損日	内 容
オオサンショウウオ	伊賀市教育委員会教育長	H24. 7. 27	H24. 6. 26	道路にて発見（死因不明）
	伊賀市教育委員会教育長	H24. 8. 21	H24. 8. 15	水路にて発見（死因不明）
	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所長	H24. 9. 6	H24. 9. 6	保護池で飼育中の個体滅失
金生水沼沢植物群落	鈴鹿市長	H24.11. 9	H24.10. 1	台風によるフェンス、観察道等毀損
東阿倉川イヌナシ自生地	四日市市教育委員会教育長	H24.10. 9	H24. 9. 30	台風17号による幹のき損

⑮ 国登録有形文化財（建造物）現状変更届

名 称	届出者	届出日	受理日	完了日	内 容
旧広野家住宅（角屋）主屋	鳥羽市長	H23. 6. 30	H23. 8. 4	H24.10. 30	公開活用修理（結果、面積が 220 m ² に変更）
北村酒造店舗兼主屋 北村酒造旧酒造酒母室 北村酒造土蔵 北村酒造表門	セルスター工業株式会社	H25. 2. 12			解体による除却

⑯ 国登録有形文化財（建造物）所有者変更届

名 称	届出者	申請日	受理日	内 容
北村酒造店舗兼主屋 北村酒造旧酒造酒母室 北村酒造土蔵 北村酒造表門	セルスター工業株式会社	H24.11. 5	H25. 1. 25	売却による

(2) 県指定文化財現状変更等

① 有形文化財現状変更

名 称	所有者	申請者	申請日	受理日	完了日	内 容
諸戸（宗）家住宅 煉瓦蔵	公益財団法人諸戸財団	公益財団法人諸戸財団	H24. 6. 5	H24. 6. 11		重文諸戸家住宅の保存修理に伴う、煉瓦蔵床の解体格納、仮設床設置。

② 有形文化財修理届

名 称	届出者	届出日	受理日	完了日	内 容
旧三重県第三尋常中学校校舎	三重県	H24. 5. 9	H24. 5. 14	H24. 6. 29	雨漏り修理
旧小田小学校本館	伊賀市	H25. 2. 8	H25. 2. 15	H25. 3. 13	配電盤交換

③ 有形文化財き損届

名 称	届出者	届出日	受理日	内 容
旧小田小学校本館	伊賀市	H24.10.18	H24.11.5	台風17号により、漆喰壁の剥離及び剥落

④ 有形文化財（有形民俗含む）所在場所の変更（元の場所に復する場合）

名 称	管理者	申請者	申請日	公開期間	公開理由
木造阿弥陀如来坐像	顕正寺	パラミタ ミュージ アム	H24. 2. 14	H24. 2. 26 ～ 4. 16	特別企画「高田本山の 宝物と文化財展－信仰 とその証－」に出展
木造仏頭	顕正寺				
木造阿弥陀如来立像	龍泉寺				
銅造阿弥陀如来立像	龍光寺				
木造親鸞聖人坐像	専修寺				
絹本着色真慧上人像	専修寺				
銅鐸（野田出土）	専修寺				
銅造誕生釈迦仏立像	専修寺				
銅造如来立像	薬師寺				
土偶	埋蔵文化財セン ター所長	MIHO MUSEUM	H24. 4. 23	H24. 9. 1 ～12. 9	特別展「土偶・コスモ ス」に出展
紙本着色曾我蕭白筆「雪 山童子の図」	継承寺	千葉県美 術館 三重県立 美術館	H24. 4. 1	H24. 4. 3 ～ 7. 31	「蕭白ショック！！ 曾我蕭白と京の画家た ち」に出展
弥生土器広口壺（三津遺 跡出土）	個人	鈴鹿市考 古博物館	H24. 6. 12	H24. 7. 21 ～ 9. 2	企画展「何が入ってい たのかな？－弥生土器 大集合－」に出展
萬古焼（林コレクション）	四日市市立博物 館長	四日市市 文化会館	H24. 7. 12	H24. 7. 21 ～ 9. 16	「萬古不易 萬古焼の 長い道～萬古の技」に 出展
木造如意輪観音坐像	観音寺	パラミタ ミュージ アム	H24. 5. 18	H24. 8. 30 ～10. 10	「南都大安寺と観音さ ま展」に出展
木造十一面観音立像	和具観音堂				
木造十一面観音立像	真教寺				
馬形埴輪（石薬師東古墳 群63号墳出土）	埋蔵文化財セン ター所長	鈴鹿市考 古博物館	H24. 7. 31	H24. 9. 29 ～12. 2	特別展「優品でみる鈴 鹿の遺跡」に出展
ワキ塚1・2号墳出土品	伊賀市長	柘植歴史 民俗資料 館	H24. 8. 10	H24. 8. 21 ～10. 31	企画展「埴輪が語る伊 賀の古墳時代」に出展
宗国史（崇廣堂本）	伊賀市長	芭蕉翁記 念館	H24. 8. 30	H24. 10. 11 ～10. 16	特別展「芭蕉のめざし た俳諧－奥の細道・猿 蓑・軽みの時代－」に 出展
朝鮮通信使行列図染絵胴 掛	白子西町自治会	大黒屋光 太夫記念 館	H24. 10. 10	H24. 11. 22 ～12. 10	鈴鹿市制施行70周年記 念事業に出展
木造薬師如来坐像	見徳寺	見徳寺	H25. 2. 19	H25. 3. 20 ～ 3. 20	法要のため

⑤ 有形文化財所在場所の変更

名 称	所有者	変更場所	届出日	変更理由
金銅装頭椎大刀	明和町教育委 員会	斎宮歴史博物館	H24. 4. 1	保管場所変更
埴製枕	個人	志摩市歴史民俗資料館	H24. 8. 28	寄託先変更

⑥ 有形文化財公開届（公開承認施設）

名 称	所有・管理者	申請者	届出日	公開期間	公開理由
常光坊谷4号墳出土品	松阪市	斎宮歴史博物館	H24. 6. 8	H24. 4. 21 ～ 6. 3	企画展「ファッションとしぐさの今昔」に出展
斎宮女御集（資経本）	三重県	斎宮歴史博物館	H24. 9. 7	H24. 7. 21 ～ 9. 2	企画展 斎宮・温故知新2「海をえがく、表現する」に出展
伊奈富神社神宝 神像 能面 獅子頭	伊奈富神社	斎宮歴史博物館	H24. 12. 4	H24. 10. 6 ～ 11. 11	特別展「暦と怪異 —不安な日々 の平安貴族—」に出展
木造男神坐像	神宮寺				
紙本着色北野天神縁起	杉谷神社				

⑦ 有形文化財所有者変更届

名 称	旧所有者	新所有者	届出日	内 容
諸戸（宗）家住宅	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 11	公益移行認定にかかる名称変更
推敲亭	財団法人諸戸会	公益財団法人諸戸財団	H24. 4. 11	公益移行認定にかかる名称変更
弥生土器広口壺 （三津遺跡出土）	個人	個人	H24. 5. 7	所有者死亡のため

⑧ 有形文化財管理責任者選任届

名 称	所有者	管理責任者	選任年月	選任理由
紺紙金銀阿惟越致遮経巻下	徳蓮寺	桑名市博物館	H24. 5. 20	寄託先であるため

⑨ 有形民俗文化財現状変更

名 称	所有者	申請者	申請日	受理日	完了日	内 容
大入道山車	中納屋町大入道保存会	中納屋町大入道保存会	H24. 9. 5	H24. 9. 10	H25. 3. 20	漆、金箔、メッキ、部材の部分修理

⑩ 史跡及び名勝現状変更

件 名	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
史 桑名城跡	桑名市・鎮国守国神社・個人	宗教法人鎮国守国神社宮司		H24. 5. 23		簡易プレハブ設置（市許可）
史 亀山城跡	亀山市	亀山市長	H24. 3. 30	H24. 3. 30		【計画変更】史跡整備工事
名 伊奈富神社庭園	伊奈富神社	伊奈富神社宮司	H24. 3. 27	H24. 3. 30		【計画変更】池水排水
史 大河内城跡	西蓮寺	宗教法人西蓮寺代表役員	H24. 4. 17	H24. 4. 17		石積修復
		松阪市教育委員会教育長	H24. 11. 14	H24. 11. 26		看板設置
史 鳥羽城跡	鳥羽市	鳥羽市長	H24. 5. 30	H24. 6. 4	H24. 11. 16	発掘調査
史 坂本古墳群	個人	個人	H24. 7. 14	H24. 7. 30	H24. 11. 30	住宅撤去

名称	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
史 田丸城跡	玉城町	玉城町長	H24. 7. 20	H24. 7. 30		庁舎耐震工事
		玉城町長	H24. 11. 1	H24. 11. 14		仮設工作物設置 (電飾)
		玉城町長	H24. 11. 2	H24. 11. 15		防火水槽設置

⑪ 史跡及び名勝き損届

名称	届出者	届出日	き損日	内容
史 田丸城跡	玉城町長	H24. 7. 6	H24. 6. 20	排水枡破損
史 真盛廟	宗教法人西蓮寺	H24. 9. 10	H24. 8. 22	獣害による屋根の損傷
史 旧亀山城多門楼	亀山市長	H24. 12. 17	H24. 12. 14	火災による柱の損傷

⑫ 天然記念物現状変更

件名	所有者	申請者	申請(協議)日	許可(同意)日	完了日	変更理由
地藏大マツ	西玉垣町 自治会	西玉垣町自治会	H24. 11. 28	H24. 11. 28	H25. 3. 21	土壌改良、薬剤注入
ハマナツメ群 落	道行竈区	伊勢志摩国立公 園ふれあい推進 協議会	H24. 5. 1	H24. 5. 22		観察会の実施
法然寺の鉄魚	法然寺	尾鷲市教育委員 会教育長	H24. 5. 15	H24. 5. 15		生息確認調査
おおだいがは らさんしょう うお		近畿中国森林管 理局	H24. 7. 9	H24. 7. 12	H24. 12. 27	生息状況調査
		三重県知事	H24. 9. 18	H24. 9. 27	H25. 4. 3	工事にとまなう一時 捕獲・移動
		三重県知事	H24. 10. 12	H24. 10. 29	H25. 4. 11	工事にとまなう一時 捕獲・移動
		三重県知事	H24. 10. 15	H24. 10. 29	H25. 4. 9	工事にとまなう一時 捕獲・移動

⑬ 県指定文化財の掲載・撮影許可等

件名	申請者	申請日	許可日	使用目的
三重県水産図解	三重テレビ放送	H24. 5. 14	H24. 5. 14	T V番組内で紹介
三重県水産図解、三重県 水産図説	三重県立博物館長	H24. 7. 3	H24. 7. 6	展示パネル、解説書 に掲載
弥生土器広口壺(三津遺 跡出土)	鈴鹿市考古博物館長	H24. 7. 5	H24. 7. 9	企画展の展示パネル 及び解説パンフレッ トに写真掲載
三重県水産図解	株式会社化学同人	H24. 9. 20	H24. 9. 21	書籍本文中の図版に 使用
三重県水産図解	株式会社テレビ朝日	H24. 11. 9	H24. 11. 14	T V番組内で使用
三重県水産図解	株式会社テレビ朝日	H24. 11. 26	H24. 12. 3	T V番組内で使用
三重県水産図解	株式会社テレビ朝日	H24. 11. 28	H24. 12. 3	T V番組内で使用
三重県水産図解	有限会社メディアスタイル	H25. 3. 8	H25. 3. 12	情報誌に掲載

4 文化財の公開・普及

(1) 文化財関係の受賞

該当者なし

(2) 三重県文化財講習会（第30回）

目 的 文化財保護に携わっている文化財所有者、管理者、三重県文化財保護指導委員、市町文化財保護関係委員、文化財保護行政担当者等を対象として、文化財保護に関する知識と技能等の研修を行い、資質の向上を図るとともに、文化財の保存と活用の強化に資する。

テ ー マ 『近代化遺産の保護と活用を考える』

主 催 三重県教育委員会・三重県指定文化財等所有者連絡協議会

開 催 日 平成24年11月7日（水）

場 所 桑名中央公民館

参 加 者 78名

内 容 講演 「三重県の近代化遺産」

三重大学教授

菅原 洋一

報告 「四日市市の近代化遺産～その保護と活用～」

元四日市市教育委員会

北野 保

報告 「桑名市の近代化遺産～伊勢大橋と六華苑を中心に～」

桑名市教育委員会

水谷 芳春

(3) 第54回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会

趣 旨 近畿・東海・北陸ブロック12府県内に伝承されている民俗芸能のうち、無形民俗文化財に指定されるなど、価値が高いものについて特別公開し、各保存団体の伝承活動の活性化をはかるとともに、伝統文化への関心を広く高めることを目的とする。

主 催 第54回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会実行委員会、愛知県、愛知県教育委員会

共 催 豊川市、豊川市教育委員会

助 成 文化庁

協 賛 全国民俗芸能保存振興市町村連盟

開催日時 平成24年11月11日（日）

会 場 豊川市文化会館 大ホール

出演演目 加太板屋のかんこ踊り（三重県）、三夜踊り（石川県）、瑞寶寺鉦講（大阪府）、車大歳神社の翁舞（兵庫県）、高芝の獅子舞（和歌山県）、大獅子小獅子の舞（愛知県）、牛久保の若葉祭（愛知県）

(4) 文化財保護強調週間行事（平成24年11月1日～7日 ※近接期間の事業を含む）

		県	市	町	その他	合計
実施自治体件数		1	9	3	1	14
実施 行事 件数	文化財講座・シンポジウム等	0	4	1	0	5
	伝統芸能発表会等	0	1	2	0	3
	文化財めぐり	0	2	0	0	2
	文化財の現地公開	0	0	0	1	1
	博物館等での文化財の展示	2	12	2	0	16
	文化財保護功労者の表彰等	0	2	0	0	2
	その他	0	2	0	0	2

(5) 文化財防火デー関連防火運動実施状況

関連防火運動実施状況（平成25年1月26日） ※防火デー以外の日に実施したものを含む

	実施件数			
	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	1
市	14	16	13	27
町	8	10	8	15
計	24	28	23	43

(6) 文化財保護の組織（平成24年度）

社会教育・文化財保護課 課長 野原 宏司

有形文化財グループ

副課長 竹田 憲治
主 幹 上野 勉
西峰 淳
主 査 柴山 圭子
技 師 角正 淳子

記念物・民俗文化財グループ

副課長 竹内 英昭
主 査 小濱 学
松葉 和也
中野 環
原田恵理子
主 事 藤原 良幸
技 師 伊藤 文彦
石井 智大

三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成 25 年 3 月 31 日現在

種 別		国	県	計
重要文化財 Ⅱ 有形文化財	建造物	23	44	67
	絵画	19	37	56
	彫刻	66	110	176
	工芸品	17	56	73
	書跡・典籍・古文書	45	55	100
	考古資料	10	29	39
	歴史資料	4	5	9
無文化財 有形財	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
民俗文化財	無形民俗文化財	8	35	43
	有形民俗文化財	1	25	26
記念物	特別史跡	1	—	1
	特別天然記念物	2	—	2
	特別名勝及び天然記念物	1	—	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	2	2
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	77	98
	天然記念物及び名勝	1	1	2
小 計		278	562	840
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	—	1
文化財の保存技術		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	10	25
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録文化財		144	—	144
合 計		438	572	1,010

（国の古文書には国宝3、考古資料には国宝1を含む）

三重県の文化財保護 — 平成 24 年度 —

・発行／2013.12

・編集／三重県教育委員会

・印刷／小林印刷

古紙配合率は100%、白色度80%